

2024年度

総会 議案書

日 時 2024年4月13日(土) 13:00~

(受付 12:30~12:50)

場 所 当別町総合体育館

石狩郡当別町白樺町2792番地

○総会次第

- 1・開会の言葉
- 2・副会長あいさつ
- 3・来賓あいさつ
- 4・部会長あいさつ
- 5・2023年度 活動報告

- (1) 事務管理グループ
 - ・会計決算報告(財務)
 - ・庶務 登録 普及広報
- (2) 競技運営グループ
 - ・競技会事業 競技運営 審判
- (3) ユース育成グループ
 - ・育成センター 指導者育成 北海道KPI

6・2024年度 活動計画(案)

- (1) 事務管理部門
 - ・新年度からの会計予算について
 - ・代表 総務 会計・庶務 広報
- (2) 競技運営部門
 - ・競技会事業 競技運営 審判
- (3) ユース育成部門
 - ・育成センター 指導者育成 北海道KPI

7・連絡事項

- (1) 組織体系・年間計画について
- (2) 所属ブロックについて
- (3) 登録・移籍・合同チームについて
- (4) 札幌地区協会主催の大会について
- (5) 部会員の募集について

8・全国大会報告

9・その他

10・閉会の言葉

○インテグリティ研修会

○ブロック会議(ブロック専門委員の決定ほか)

札幌地区バスケットボール協会
U12部会
2024年度 総会

2024年4月13日（土）

当別町総合体育館

1

運営方針

【育成マインド】の理念を
実現する運営・大会方式を
目指す

2

運営方針

目的

スキルアップだけを目指すのではなく、
「社会性」「協調性」「人間性」などの
U12の子どもたちの人間としての成長の機会を
生み出す部会運営を実現する

3

運営方針

人間性や社会性、協調性、
リスペクトの精神を育む
→健全なバスケットボール環境の
整備が課題となっている

4

運営方針

課題

暴言・暴力の根絶

小学生に合った量・時間の活動

ルール・規約の遵守

地域に根差したチーム運営

5

運営方針

「勝利至上主義」からの脱却

「勝敗」があり、そこに「夢中」になることが
「楽しさ」の要素の一つであるのも事実…

ただし…

6

運営方針

「勝利至上主義」からの脱却

大人の勝負へのこだわりが、子どもたちの成長や
純粋な楽しさを奪いかねないことを
再認識する必要がある…

7

運営方針

「育成マインド」の共有

- 子どもも大人も楽しみながら成長する
- ・主体的にバスケットボールを楽しむ子ども
 - ・子どもの成長を共に喜びあえる大人

8

運営改善の方向性と具体

①U12部会組織改革

②バスケットボールを楽しむ

競技会の計画・運営

9

運営改善の方向性と具体

①U12部会組織改革

- ・ 楽しいバスケットボールを願う子どもの思いを実現する
- ・ 子どもたちの成長を願う指導者・保護者の思いを実現する

10

運営改善の方向性と具体

①U12部会組織改革

- ・ 部会員の役割の細分化と明確化
- ・ ブロックでの活動を軸とした運営の再編
- ・ 札幌地区に関わる全ての人の理念共有と協力

11

運営改善の方向性と具体

②バスケットボールを楽しめる 競技会の計画・運営

- ・ 純粹にゲームを楽しめる各種大会の企画運営
(春季・秋季大会、新人戦、リーグ戦)
- ・ チームの垣根を越えた選手の育成
(DC、キッズ事業、指導者・審判・MC育成)

12

運営改善の方向性と具体

②バスケットボールを楽しめる 競技会の計画・運営

- ・ 育成をねらいとした大会の持ち方の検討、
2025年度に向けた準備
- ・ 育成をねらいとした質の高い指導を普及する
事業の実施

13

2024年度は

「札幌U12の思いを一つにする一年」

として、部会を運営していきます。

この一年、皆様の思いを

たくさん聞かせてください！

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

14

2024年度 事務管理グループ 活動報告

2024. 4. 13

○総務

・財 務・・・別紙により報告

・庶 務・・・事務局・U12部会の招集・運営

オンライン・集合形式の併用のもと、大会準備等を行った。

各種大会後援依頼、スポンサーに関わること

連絡・調整のもと適正に業務を進めることができた。

・登 録・・・登録関係

大会に関わるエントリー

→Team JBA を活用し、エントリー集約を行なった。

移籍の管理、地区協会との調整

→連絡・調整のもと適正に業務を進めることができた。

メンバー変更承認・ライセンス確認

→連絡・調整のもと適正に業務を進めることができた。

・普及広報・・・広報（ホームページ）

周知文、案内等の再整備を行なった。

複数体制で管理を行い、円滑に進めることができた。

2023 札幌地区バスケットボール協会U12部会 大会決算

(単位：円)

大会名	春季大会	秋季大会	新人大会	リーグ戦	ブロック大会(道央)
参加料	12,000	12,000	7,000	1,000	12,000

※出場チームのみ

[収入]

項目	金額	金額	金額	金額	金額
1.協賛金	105,000	0	0	0	0
2.広告料	0	435,000	0	0	0
3.放映料	0	0	0	0	0
4.入場料	0	0	0	0	0
5.プログラム売上代	0	0	0	0	3850
6.参加料	1,560,000	1,572,000	917,000	121,000	336,000
7.記念品等売上	0	0	0	0	0
8.補助金	98,400	0	0	0	81182
9.講習会受講料	0	0	0	0	0
10.その他収益	0	0	0	0	0
合 計	1,763,400	2,007,000	917,000	121,000	421,032

[支出]

項目	金額	金額	金額	金額	金額
1.会議費	39,100	34,000	26,000	34,000	0
2.旅費交通費	108,000	94,000	110,000	0	68,560
3.通信運搬費	1,160	1,310	1,950	370	370
4.消耗品費	92,350	18,975	0	0	16,192
5.器具備品費	0	0	0	0	0
6.印刷製本費	378,950	650,980	0	0	117,810
7.賃借料	494,284	280,134	0	0	120,480
8.広告宣伝費	0	0	0	0	0
9.諸謝金	716,000	685,000	679,000	0	76,000
10.保険料	0	0	0	0	0
11.支払手数料	3,503	2,718	220	220	620
12.報償費	19,360	80,192	47,644	0	0
13.食糧費	0	0	0	0	21,000
14.雑費	0	0	0	0	0
合 計	1,852,707	1,847,309	864,814	34,590	421,032

残金(収入-支出)	-89,307	159,691	52,186	86,410	0
-----------	---------	---------	--------	--------	---

※残金は札幌地区バスケットボール協会に納入

2023 年度 競技運営グループ活動報告

札幌地区 U12 リーグ 2023

前期リーグ(Spring League) 2023 年 4～5 月 小学校体育館 他
中期リーグ(Autumn League) 2023 年 8～10 月 小学校体育館 他
後期リーグ(Winter League) 2024 年 1～3 月 小学校体育館 他
各チーム年間 10 試合程度の交流試合

第 43 回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2023 年 5～6 月 小学校体育館 厚別区体育館 豊平区体育館 江別市民体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績 1・2 位チームを北海道サマーフェスティバル出場に推薦

第 52 回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2023 年 10～11 月 小学校体育館 厚別区体育館 江別市民体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績 1・2 位チームを北海道大会出場に推薦
各ブロック成績 3・4 位チームを北海道ブロック道央大会出場に推薦

2023 年度 札幌地区 U12 新人大会

2023 年 12～2024 年 2 月 小学校体育館 他
各ブロック U11 世代によるトーナメント形式で実施

第 2 回北海道ブロック道央大会(小樽・南空知・札幌地区)

2024 年 2 月 10 日(土)・11 日(日) 当別町総合体育館
小樽地区 2 チーム、南空知地区 2 チーム、札幌地区 10 チームによる交流試合
各チーム 2 試合保障
ハーフタイムにはミニゲームを実施

2023年度 ユース育成グループ 活動報告

【活動内容】

①育成センター（DCマネージャー：阿部・男子コーチ：古川・女子コーチ：桑原）

○育成センター講習会の企画・運営

- ・各ブロックで年5回の実施（必要であれば地区の担当者を派遣）
- ・各ブロックで実施後、報告書の作成、提出（担当者へ）
- ・指導者も参加し、コーチング講習会を兼ねる

②指導者育成

○コーチング講習会

○インテグリティ研修会の企画・運営

- ・春季・秋季大会時にインテグリティ研修会を開催

③北海道KPI

○「重要業績評価指標」実現に向けた取組

- ・各ブロックで未登録チームがあれば、積極的に声をかけていただく。必要であれば、部会でも積極的に支援していく。

【成果】

- インテグリティ研修会を実施することができ、コーチや保護者の方に、インテグリティについて研修を深めることができた。
- 北海道KPIでは、各ブロックや各チームの働きかけや活動のおかげで、合同チームなどで選手に活動の場を与えていただけた。今後も、各ブロックや各チームの協力で、未登録チーム0を目指していきたい。

【課題】

- 年度当初は、ブロックごとの開催を見込んでいたが、実施するための指導者や選手の確保、日程や活動場所の確保などの難しさがあり、5回の実施を計画していたが、2回の実施となった。
- 札幌地区として、チーム数が多数あること、各チームが広範囲に存在することなどから、札幌地区のコーチ2名で、年5回のDC育成センターの実施が難しかった。また、ブロックごとに開催するリーグ戦や春季・秋季大会の日程を考慮して、開催する難しさもある。できるだけ、回数が多く実施できるように、日程を調整して実施していく。

2024年度 事務管理部門 活動計画（案）

2024. 4. 13

【業務分担】

○担当副部長

→事務局会及び部会、グループ会議の招集・運営

集合形式・オンラインを併用し、計画的に会議の調整を行う

○代表グループ

→ブロック業務の全体調整、ブロック会議の招集・運営、各ブロック大会運営、HBA 連携

HBA_U12・SBA からの情報伝達、他ブロックとの業務調整、大会運営等を行う

○総務グループ

→登録・エントリー業務、移籍・合同チーム対応、プログラム編集

Team JBA システム管理

JBA チーム・選手登録、各種大会へのエントリーの周知、期日の明確化

移籍・合同チーム申請の対応

プログラム作成

○会計・庶務グループ

→会計業務、発注業務、スポンサー対応

適正に連絡・調整を行う

○広報グループ

→ホームページ管理、各種記録集約、データ配信

周知事項の整理、迅速な発信を行う

2024 札幌地区バスケットボール協会U12部会 大会予算

(単位：円)

大会名	春季大会	秋季大会	新人大会	リーグ戦
参加料	13,000	13,000	8,000	1,000

[収入]

項目	金額	金額	金額	金額
1.協賛金	100,000	0	0	0
2.広告料	0	400,000	0	0
3.放映料	0	0	0	0
4.入場料	0	0	0	0
5.プログラム売上代	0	0	0	0
6.参加料	1,690,000	1,690,000	1,040,000	130,000
7.記念品等売上	0	0	0	0
8.補助金	0	100,000	0	0
9.講習会受講料	0	0	0	0
10.その他収益	0	0	0	0
合 計	1,790,000	2,190,000	1,040,000	130,000

[支出]

項目	金額	金額	金額	金額
1.会議費	40,000	40,000	40,000	120,000
2.旅費交通費	112,000	112,000	112,000	0
3.通信運搬費	2,500	2,500	2,500	5,000
4.消耗品費	80,000	80,000	58,000	0
5.器具備品費	0	0	0	0
6.印刷製本費	428,000	728,000	0	0
7.賃借料	300,000	400,000	0	0
8.広告宣伝費	0	0	0	0
9.諸謝金	725,000	725,000	725,000	0
10.保険料	0	0	0	0
11.支払手数料	2,500	2,500	2,500	5,000
12.報償費	100,000	100,000	100,000	0
13.食糧費	0	0	0	0
14.雑費	0	0	0	0
合 計	1,790,000	2,190,000	1,040,000	130,000

2024年度 競技運営部門 競技会グループ活動計画

札幌地区 U12 リーグ 2024

前期リーグ(Spring League) 2024年4～5月 小学校体育館 他
中期リーグ(Autumn League) 2024年8～10月 小学校体育館 他
後期リーグ(Winter League) 2025年1～3月 小学校体育館 他
各チーム年間10試合程度の交流試合を行う

第44回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2024年5～6月 小学校体育館 美香保体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績上位チームを北海道サマーフェスティバル出場に推薦する

第53回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権

2024年10～11月 小学校体育館 厚別区体育館 江別市民体育館 他
トーナメント形式で、各ブロック成績上位チームを北海道大会出場・北海道ブロック道央大会出場に推薦する

2024年度 札幌地区 U12 新人大会

2024年12～2025年2月 小学校体育館 他
U11世代による試合を行う(大会形式等は検討中)

第3回北海道ブロック道央大会(小樽・南空知・札幌地区)

2025年2月8日(土)・9日(日) 当別町総合体育館
小樽地区2チーム、南空知地区2チーム、札幌地区10チームによる交流試合を行う
各チーム2試合保障とする
ハーフタイムにはミニゲームを実施する
2025年度は南空知地区で開催の予定

2024年度 ユース育成グループ 活動計画

【活動内容】

①育成センター（DCマネージャー：阿部・男子コーチ：古川・女子コーチ：桑原）

○育成センター講習会の企画・運営

・年5回の実施

① 7月 6日（土）

② 8月24日（土）

③ 12月 7日（土）

④ 1月18日（土）

⑤ 1月25日（土）

・活動・収支報告書の作成、提出、清算

・指導者の参加も可能とし、コーチング講習会を兼ねる

・次年度に向けた計画（日程・予算書の作成など）

②指導者育成

○コーチング講習会（DC育成センターと兼ねる）

○インテグリティ研修会の企画・運営

・春季・秋季大会時にインテグリティ研修会を開催

③北海道KPI

○「重要業績評価指標」実現に向けた取組

・各ブロックで未登録チームがあれば、積極的に声をかけていただく。必要であれば、部会でも積極的に支援していく。

札幌地区バスケットボール協会U12部会 2024年度 組織図

JBA 日本バスケットボール協会

SBA 札幌地区バスケットボール協会

会長 細川 正人
副会長 斉藤 拓也
理事長 大友 剛靖
副理事長 斉藤 八起

HBA 北海道バスケットボール協会

HBA U12
北海道バスケットボール協会U12部会

札幌地区バスケットボール協会U12部会

部会長	鳥丸 俊郎							
副部会長	事務管理部門：増井 耕介 ・ 竹中 康				競技運営部門：赤尾 武 ・ 桑原 奨			
グループ	代表	総務	会計・庶務	広報	チーム指導者	競技会	育成	審判
業務内容	ブロック業務の全体調整	登録・エントリー	会計業務	ホームページ	部会運営協力	春季・秋季大会	DC事業運営	審判員育成・研修
	稼働集約	移籍・合同チーム	発注業務	各種記録集約		リーグ戦	キッズ事業運営	MC育成・研修
	HBA連携	プログラム	スポンサー	データ配信		会場	インテグリティ	
グループ チーフ	増井 耕介	前鼻 智樹 高木 佳祐 金山 努 山内 重人 (中野 潤)	千代谷隆大 根深 忠大 二馬 駿 (竹中 康)	増井 耕介 佐藤 奏美 (齋藤 直樹)		赤尾 武 桑原 奨 二又 海斗 (山田 智嗣)	阿部 孔明 桑原 奨 古川 陽介 (安樂 雄太)	佐々木仁志 千葉 隆太 武田 信明
Aブロック	堀川 拓							
Bブロック	小倉 伸幸							
Cブロック	島田 達哉							
Dブロック	青木 優太							
Eブロック	佐藤 聡							

規律 委員会	鳥丸 俊郎	斉藤 八起	山田 健
	二又 利行	斉藤 拓也	中村 禎宏
	小出 真二	勝原 竹美	

札幌U12 事務局	部会長、副部会長、各グループチーフ、ブロック代表
	・ JBA、HBAからの情報共有、全道部会長会議への参加
	・ 各グループからの提案についての意見交換 ・ 諸問題への対応

グループ 会議	各グループ構成員（リーダー、グループ委員）
	・ 各担当業務についてJBA、HBAからの情報を伝達
	・ 地区としての取組の計画立案、運営 ・ ブロック間の情報共有、調整

ブロック 会議	各ブロック構成員（代表、ブロック委員）
	・ 各種大会に合わせて開催
	・ 組合せ、会場書連絡等 ※全チーム指導者の参加を必須とする

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	月	1	水	1	土	1	月	1	木	1	日	1	火	1	金	1	日	1	水	1	土	1	土		
					春季大会開始 (~6月30日)																				
2	火	2	木	2	日	2	火	2	金	2	月	2	水	2	土	2	月	2	木	2	日	2	日		
											グループ会議 (秋季大会)														
3	水	3	金	3	月	3	水	3	土	3	火	3	木	3	日	3	火	3	金	3	月	3	月		
			憲法記念日																				グループ会議 (新年度準備)		
4	木	4	土	4	火	4	木	4	日	4	水	4	金	4	月	4	水	4	土	4	火	4	火		
			みどりの日																						
5	金	5	日	5	水	5	金	5	月	5	木	5	土	5	火	5	木	5	日	5	水	5	水		
			こどもの日						グループ会議 (中期リーグ)																
6	土	6	月	6	木	6	土	6	火	6	金	6	日	6	水	6	金	6	月	6	木	6	木		
			振替休日				DC①																		
7	日	7	火	7	金	7	日	7	水	7	土	7	月	7	木	7	土	7	火	7	金	7	金		
			春季ブロック大会 組合せ集約														DC③								
8	月	8	水	8	土	8	月	8	木	8	日	8	火	8	金	8	日	8	水	8	土	8	土		
					春季大会																		道央ブロック大会		
9	火	9	木	9	日	9	火	9	金	9	月	9	水	9	土	9	土	9	木	9	日	9	日		
					春季大会						秋季大会 全市代表者会議												道央ブロック大会		
10	水	10	金	10	月	10	水	10	土	10	火	10	木	10	日	10	火	10	金	10	月	10	月		
					春季大会 プログラム原稿 最終入稿																				
11	木	11	土	11	火	11	木	11	日	11	水	11	金	11	月	11	水	11	土	11	火	11	火		
																							建国記念の日		
12	金	12	日	12	水	12	金	12	月	12	木	12	土	12	火	12	木	12	日	12	水	12	水		
									山の日																
13	土	13	月	13	木	13	土	13	火	13	金	13	日	13	水	13	金	13	月	13	木	13	木		
	2024年度 U12部会総会				事務局会 (春季大会)																				
14	日	14	火	14	金	14	日	14	水	14	土	14	月	14	木	14	土	14	火	14	金	14	金		
	審判認定講習会																								
15	月	15	水	15	土	15	月	15	木	15	日	15	火	15	金	15	日	15	水	15	土	15	土		
	前期リーグ・春季大会 teamJBA エントリー開始				春季大会																				
16	火	16	木	16	日	16	火	16	金	16	月	16	水	16	土	16	月	16	木	16	日	16	日		
					春季大会						中期リーグ teamJBA エントリー開始												後期リーグ		
17	水	17	金	17	月	17	水	17	土	17	火	17	木	17	日	17	火	17	金	17	月	17	月		
18	木	18	土	18	火	18	木	18	日	18	水	18	金	18	月	18	水	18	土	18	火	18	火		
19	金	19	日	19	水	19	金	19	月	19	木	19	土	19	火	19	木	19	日	19	水	19	水		
20	土	20	月	20	木	20	土	20	火	20	金	20	日	20	水	20	金	20	月	20	木	20	木		
					グループ会議 (春季大会)																		春分の日		
21	日	21	火	21	金	21	日	21	水	21	土	21	月	21	木	21	土	21	火	21	金	21	金		
	前期リーグ・春季大会 teamJBA エントリー締切																								
22	月	22	水	22	土	22	月	22	木	22	日	22	火	22	金	22	日	22	水	22	土	22	土		
					春季大会 代表者会議																				
23	火	23	木	23	日	23	火	23	金	23	月	23	水	23	土	23	月	23	木	23	日	23	日		
					春季大会 美香保体育館																				
24	水	24	金	24	月	24	水	24	土	24	火	24	木	24	日	24	火	24	金	24	月	24	月		
					移籍申請締切 (春季分)																		事務局会 (新年度準備)		
25	木	25	土	25	火	25	木	25	日	25	水	25	金	25	月	25	水	25	土	25	火	25	火		
26	金	26	日	26	水	26	金	26	月	26	木	26	土	26	火	26	木	26	日	26	水	26	水		
	春季ブロック大会 メンバー表出力																								
27	土	27	月	27	木	27	土	27	火	27	金	27	日	27	水	27	金	27	月	27	木	27	木		
28	日	28	火	28	金	28	日	28	水	28	土	28	月	28	木	28	土	28	火	28	金	28	金		
	春季スポンサー 広告集約																								
29	月	29	水	29	土	29	月	29	木	29	日	29	火	29	金	29	日	29	水	29	土	29	土		
	昭和の日				春季大会 美香保体育館																				
30	火	30	木	30	日	30	火	30	金	30	月	30	水	30	土	30	月	30	木	30	日	30	日		
					春季大会 美香保体育館																				
31	金	31	日	31	水	31	土	31	月	31	木	31	金	31	日	31	火	31	金	31	月	31	月		
					JBA登録締切 (春季・Sフェス分)																		グループ会議 (新年度準備)		

前期リーグ

春季大会

中期リーグ

秋季大会

新人戦

後期リーグ

後期リーグ

R6（2024）年4月

札幌地区バスケットボール協会
U12 カテゴリー登録チーム関係者の皆様

札幌地区バスケットボール協会
副会長 齊藤 拓也
理事長 大友 剛靖
U12 部会長 齊藤 八起

札幌地区U12カテゴリー 「R6年度 ブロック所属の方向性」について

陽春の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より札幌地区バスケットボール協会U12部会の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝しております。

さて、昨年度末3学期に行われました道央ブロック大会や各ブロック後期リーグ戦では、どの会場、試合でも従来の熱気と興奮にあふれておりました。チーム関係者の皆様におかれましては、新年度を迎え新たなメンバー、新たな思いで活動をスタートされていることと思います。このような中、最近の札幌地区においては、JBAのガイドライン的に活動拠点の実態が適正といえないケース、選手の移籍や合同チームによる登録や大会参加、各ブロック所属チーム数の格差、「地域少年団」「クラブチーム」「準クラブチーム」等チーム形態の分化等が進んでいる状況が見られます。このような状況を鑑み昨年末実施いたしました【各チーム活動拠点調査】にご協力くださり感謝いたします。

つきましては、引き続き所属ブロックの確認、適正化を進めてまいりますので、新年度の「ブロック所属の方向性」に対する皆様のご理解と協力をお願いいたします。

記

次年度の【所属ブロック】の方向性について

1. 「U12 カテゴリー指導ガイドライン」【12 U12世代のチームの作り方/登録・移籍】に基づき、各チームは「活動拠点」を明示する。チームから明示された「活動拠点」を当部会で精査し、次年度の所属ブロックを決定する。
2. 「登録チームの所属ブロックに関する規定」については、R6年度から適用する。所属ブロックの変更等があれば、当該チームにはあらかじめ連絡、通知する。
3. 今後、JBAからの各通知及び札幌地区所属チームの登録状況や所属実態の変化による再検討の必要が生じた場合には、より実効性の高い内容や規定に改定していくものとする。

以上

※この件に関する問合せ等につきましては、各ブロック所属部会員または新陵東小学校（684-5561）事務管理グループ 増井までお願いします。

（裏面に続く）

登録チームの所属ブロックに関する規定

1 ねらい

- チームの活動拠点と所属する選手の在籍学校（住居）等の実態と、所属ブロックとの乖離を解消するため、「登録チームの所属ブロックに関する規定」を設ける。
- チーム活動拠点調査を基に、所属ブロックとチームの実態が適正と言えない状況の改善を図る。

2 定義

『札幌地区U12カテゴリー登録チーム並びに競技者は、U12部会に明示した活動拠点が含まれるブロックに所属し、それらに関してはU12部会により精査及び判断される。』

●【活動拠点】

- 「活動拠点」とは、当該チームの主たる活動場所である。チームを構成する競技者の居住地域を踏まえて確保された近隣地域での会場であり、当該地域の小学校体育館や公共の体育館を指す。

●【チームのつくりかた】

- 「チーム」は、「主たる居住地から主たる活動場所（活動拠点等）まで安全に無理なく集合して活動し、活動後は安全に無理なく帰宅できる」「活動中の安全の確保については保護者が責任をもって行える」といった条件を満たしている競技者を所属させることが望ましい。

●【競技者】

- 「競技者」は、各チームによって方針や活動内容が様々であるため、予め見学や体験をするなど、自分に合ったチームに所属することが可能である。
- U12カテゴリーでは、基本的に「移籍」は想定されていない。ただし、「①転居」や「②人間関係のトラブル」といった「特別な事情」による場合には認められる。やむなく移籍をする場合においても、決して大人の感情的な感覚や目先の結果だけに捕らわれず、子どもにとって楽しくバスケットボールが行える環境を一番に考えるべきである。

●上記が、「U12カテゴリー指導ガイドライン」【12 U12世代のチームの作り方/登録・移籍】において推奨されていることから、活動拠点とチームの作り方（所属ブロック）、競技者に関して望ましいあるべき実態に是正していく努力を継続的に働きかけていく

- 翌年度、所属ブロック変更が申請される場合は、秋季大会登録時のチーム状況により判断する。

- 「地域体育振興会の所属」「校舎目的外使用等手続による利用」「学校開放利用」等の活動状況及び「チームを構成する選手の居住地や在籍校」等に大きな変化が現れた場合は、あらためて精査し所属ブロックを判断する。

- 新たなチームの所属については、JBAチーム登録前に当部会に承認を得ると共に、活動拠点や選手の所属校についての確認を基に所属ブロックを決定するものとする。

よって、

- 原則、登録チームの所属ブロック変更は認められない。

- 活動拠点調査やブロック所属について虚偽の申告等があれば、ブロック代表としての上位大会への推薦は受けられない。

以上

各種登録手続きについて

2023年3月作成
2023年7月一部改訂
北海道バスケットボール協会 U12部会

競技者、コーチ、スタッフ登録、 移籍手続き、合同チームの取り扱いについて

1. 競技者及び指導者登録、各種大会参加枠数算出について

(1) 競技者登録について

- ①各地区協会の登録手続きに沿って、登録作業を確実にお願いいたします。
- ②北海道バスケットボール協会主催大会につきましては、以下を登録期限とします。
 - ・北海道ミニバスケットボールサマーフェスティバル・・・5月末日まで
→5月末の登録数をもとに、枠数を算出し、6月中旬ごろに枠決定・通知
 - ・北海道ミニバスケットボール大会・・・・・・・・・・・・・・9月末まで
→9月末の登録数をもとに、枠数を算出し、10月中旬ごろに枠決定・通知
 - ・北海道ブロックミニバスケットボール大会・・・・・・・・・・・・・・9月末まで

以上の期限以降の登録や移籍があっても、大会への参加は認められません。

(2) コーチ登録について

- ①ベンチに入って指揮を執る可能性のある指導者は、競技者と同様に上記期限までに、コーチとしてチームへの登録を行ってください。
期限以降の登録や移籍があっても大会への参加は認められません。
- ②ベンチに入って指揮を執ることができるのは、原則、D級コーチライセンス以上を有する方とします。

※サマーフェスティバルのみ、
特例としてE級コーチライセンスを認めます。

各地区U12部会は、競技者登録に合わせて、地区での予選会等において、各チームの「競技者登録一覧表」などを活用して、登録内容の確認作業を確実にお願いいたします。

③大会エントリー時のスタッフ欄の表記は以下の通りです。

- ・ヘッドコーチ (原則D級コーチライセンス以上が必要)
- ・アシスタントコーチ (コーチライセンスを保持することが望ましい)
- ・アシスタントコーチ (コーチライセンスを保持することが望ましい)

※アシスタントコーチの内、1名をファーストアシスタントコーチとする。

- ・マネージャー (コーチライセンスの保持を問わない)

※マネージャーについては登録期限の設定はありません。

※D級を保持するヘッドコーチ、ファーストアシスタントコーチが、種々の権限をもつ。

※ヘッドコーチ、アシスタントコーチのうち、最低1名以上がコーチライセンス (D級、サマーフェスティバルのみE級も可) を保持していることとする。

ただしアシスタントコーチもチーム登録する際にE級コーチライセンスを保持するよう促していく。

「ミニバスケットボール競技規則の取り扱いについて_20210801」および「2022バスケットボール競技規則」より

(3) 予選会における登録の確認について（各地区U12部会での業務）

サマーフェスティバル、北海道大会、北海道ブロック大会の出場権に関係する予選会においては、予選会にて出場権を獲得した後、上記大会前での登録不備対応を防ぐために、予選会の大会エントリー時に確実に登録状況を確認し、不備がある場合には、予選会開催前までにチームへ連絡し対応してもらうようにしてください。

<TeamJBAでの登録の際の注意事項>

- ・『コーチ』...ヘッドコーチ・アシスタントコーチ（ライセンス保持者が望ましい）
- ・『帯同審判』...審判員（ライセンス保持者が望ましい）
- ・『チームスタッフ』...マネージャー等

<登録の確認方法について（例）>

例1) TeamJBAを活用した大会エントリーを行い、エントリー情報にて登録状況を確認する。

例2) プログラム用メンバー表とTeamJBAより競技者登録一覧表の両方を参加チームから提出してもらい、登録に不備がないか確認する。

2. 移籍手続きについて

(1) 選手の移籍手続きについて

別紙、移籍手続きに関する資料を、地区内で周知願います。

(資料を、ホームページ上にアップすることに合わせて、各チームへも配信願います。)

全ての移籍手続きにつきましては、

移籍申請書の作成、審査、承認→→→Team-JBAの手続き

の順に進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

**移籍手続きの際は、必ず指導代表責任者の方が移籍事由を確認し、移籍申請書の
チーム代表者の欄に氏名を記載してください。**

U12 カテゴリー登録運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」という）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12 カテゴリーにおける登録の運用に關して必要な事項を定める。

(対象チーム)

第2条 この細則の対象となるチームは、JBA 基本規程 第3章 所属団体、第2節 加盟チームに定める、加盟種別がU12（以下、「U12 カテゴリー」という）のチームとする。

(対象競技者)

第3条 この細則の対象となる競技者は、登録年度の4月1日時点で12歳未満の者とする。ただし、過年齢であっても小学校に就学している競技者の登録は認める。

(登録の条件)

第4条 U12 カテゴリーのチームに登録する場合は、次の1.2.の条件をともに満たすこと。
1. 競技者の主たる居住地から当該チームの主たる活動場所まで安全に無理なく集合して活動し、活動後は安全に無理なく帰宅できる範囲のチームであること。
2. 競技者の移動中の安全の確保について、当該競技者の保護者が責任をもって行える環境であること。

(雑則) 本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て部会長が行う。

(附則) この細則は2019年4月1日より施行する。

U12 カテゴリー移籍運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」という）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12 カテゴリーにおける移籍の運用に關して必要な事項を定める。

(対象チーム・対象競技者)

第2条 この細則の対象となるチームおよび競技者は、U12 カテゴリー登録運用細則第2条および第3条に定めるチームおよび競技者とする。ただし、U15 カテゴリーのチームに所属する、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U12 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の対象競技者とする。

(移籍の定義)

第3条 U12 カテゴリーにおいては、これまで登録していたチームとは異なるチームに登録することを移籍とする。
1. U12 カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U15 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の第4条は適用しない。
2. U15 カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上12歳未満の競技者が、U12 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則を適用する。

(移籍の条件)

第4条 この細則の対象となる競技者の移籍は、次の1.2.にあげる「特別な事情」があれば認める。
1. 転居
2. 人間関係等のトラブル

(移籍の回数)

第5条 移籍の回数制限は設けない。

(移籍の承認)

第6条 U12 カテゴリーにおける移籍の承認は、以下の通りとする。
1. 移籍の承認は移籍元チーム及び移籍先チームの所属する都道府県協会が行う。
但し、移籍承認者がU12 カテゴリーのチームの関係者または競技者の関係者である場合は、都道府県協会が別途移籍の承認を行う者を定めること。

(移籍の申請)

第7条 移籍の申請は、次の通りとする。
1. 移籍を申請する者は、「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入し、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行う。
2. 都道府県協会は、移籍の申請を受理してから原則14日以内に移籍の可否を行う。

(雑則) 本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て部会長が行う。

(附則) この細則は2019年4月1日より施行する。
2023年7月1日一部改定

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

U12 カテゴリーの登録および移籍については、2019年度より、JBA基本規程およびU12 カテゴリー登録運用細則、U12 カテゴリー移籍運用細則に基づき、全国共通の規程にて運用しております。

U12 カテゴリーの移籍については、U12 カテゴリー移籍運用細則および以下の手続き方法をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願いいたします。

■ U12 カテゴリー移籍申請の対象となる方

< 移籍にあたって >

- ① 移籍は、「U12 カテゴリー移籍運用細則」第4条 1.2.の特別な事情がある場合に認められます。
- ② 登録の年度更新に合わせて所属チームを変更することも移籍とします。

< 対象となる選手 >

「U12 カテゴリー登録運用細則」第3条に定める競技者のうち、U12 カテゴリーで登録している競技者および過去に登録したことがある競技者となります。

< 留意点 >

- 「特別な事情（転居、人間関係等のトラブル）があれば移籍を認める」ことは、競技者にバスケットボールの競技環境を保障するためであり、決して強化や勝利至上主義を促すものではありません。
- 移籍は、所定の「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入・捺印の上、TeamJBA（会員登録システム）を通じて移籍申請を行い、移籍が承認された場合のみ認められます。
U12 カテゴリーの移籍の可否は、都道府県バスケットボール協会によって判断されます。

■ U12 カテゴリー移籍申請 受付期間

U12 カテゴリーの移籍については、随時、申請を受け付けます。

但し、登録受付期間は毎年度 2 月末までとなります。承認まで 2 週間程度かかりますので、移籍手続きは余裕をもって行ってください。

また、2 月以降の移籍申請を行った場合、翌年度登録（移籍）となる場合がございますので、予めご了承ください。

※移籍申請書に記入漏れ等の不備があった場合には、移籍申請が認められない場合や結果通知が遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

※都道府県協会が移籍申請書を受理してから、原則 2 週間程度で移籍の可否を通知しますが、都道府県をまたぐ移籍申請や事務局の休止期間中など、各都道府県協会によって多少前後する場合がありますので、予めご了承ください。

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

■ 移籍申請にあたっての事前準備

手順	詳細
① U12 カテゴリー移籍申請書入手	・JBA 公式サイトから「U12 カテゴリー移籍申請書」を入手してください。 【JBA 公式サイト】 http://u12.japanbasketball.jp/registration/
② 移籍申請書に必要事項を記入	・申請者の欄は、移籍を希望する競技者の保護者が記入してください。 ・日中連絡がとれる連絡先を記入し、移籍理由は選択肢から選んでください。 ※記入漏れや誤りがある場合、移籍承認ができませんので、ご注意ください。
③ 移籍元チームの承諾を得る	・移籍元(所属)チームの代表者に承諾を得てください。(※1) ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が必要となります。
④ 移籍を希望するチームの承諾を得る	・移籍を希望するチームの代表者に承諾を得てください。 ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が必要となります。
⑤ 移籍先チームの登録担当者へ移籍申請書を提出	・申請者は、「移籍申請書（全て記入・捺印されたもの）」のデータを、移籍先チームの登録責任者へ提出してしてください。 ※データは PDF または画像データとし、ファイル名は以下のようにしてください。 「U12 移籍申請書_メンバーID(9桁)_移籍申請者氏名(フルネーム)」 ※データ化する際、移籍申請書全体が写るように撮影してください。

■ 移籍申請手続き

手順	詳細
① TeamJBA にて移籍申請手続き	・移籍先チームの登録責任者は、TeamJBA「メンバー代理登録申請」より、競技者の「1 人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 ・追加登録の際、「必須項目」を記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の『移籍申請書（PDF または画像データ）』を添付し、「申請理由」を記入の上、登録（移籍）申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーID にて登録を行ってください。 ※申請理由には「●●を理由に、●●チーム（移籍先チーム名）への移籍を希望しているため」と記載してください。
② 移籍元チームの脱退申請の承認	・移籍元チームの登録責任者は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認してください。(※2)
③ 都道府県協会にて移籍の可否判断	・移籍元チーム及び移籍先チームの都道府県協会にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否が行われます。 ※移籍の可否判断には 2 週間程度かかります。 ※移籍可否の結果は、移籍先チームの登録責任者へ通知されます。
④ 登録料の納付	・都道府県協会が移籍を承認後(※3)、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ登録料の徴収はありません。
⑤ 登録（移籍）完了	・TeamJBA（チーム登録責任者）にて、PDF 登録証を出力してください。 ・登録（移籍）手続き完了後、大会に出場できる権利が得られます。但し、移籍後の大会への出場の可否は大会規程に従ってください。

(※1) 移籍元(所属) チームが所属選手への移籍を承諾すべきであるにもかかわらず、これを行わない場合は、その旨、移籍元チームが所属する都道府県協会へお申し出ください。

(※2) 既に移籍元チームで退部処理がされている場合や年度替わりの場合には、移籍元チームの承認作業はスキップされます。

	申請者及び該当チーム	Team JBA	地区協会	HBA U12部会
①移籍申請書作成	・申請書（JBAまたはHBA、地区協会HPよりダウンロードする）の書式に基づき 申請者（競技者の保護者） が作成する。 ・ 保護者欄に必ず押印のこと。			
②移籍元チームの承諾を得る	・移籍元（所属） チーム代表者 の承諾を得て 署名欄に記入、押印を依頼 する。			
③移籍を希望するチームの承諾を得る	・移籍を希望する チーム代表者 の承諾を得て、 署名欄に記入、押印を依頼 する。			
④移籍先チームの登録担当者へ移籍申請書を提出する	・ 申請者（競技者の保護者） は、「移籍申請書（全て記入されたもの）」のデータを、移籍先チームの登録責任者へ提出する。 （PDFまたは画像）			
⑤Team JBAにて移籍申請手続き	・ 移籍先チームの登録責任者 は、Team JBA「メンバー代理申請」より、競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 ・追加登録の際、「必須項目」の記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の『移籍申請書』を添し、「申請理由」を記入の上、登録（移籍）申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーIDを使用 ※申請理由は、「〇〇を理由に、〇〇チームへの移籍を希望しているため」と記載		移籍申請後 地区協会 および HBA U12に 承認申請 依頼連絡が 届く。	移籍申請後 地区協会 および HBA U12に 承認申請 依頼連絡が 届く。
⑥移籍元チームの脱退申請の承認	・ 移籍元チームの登録責任者 は、対象となる競技者の『 脱退申請 』を承認してください。			
⑦地区協会にて移籍の可否判断	・移籍元チームの地区協会にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否判断を行います。	地区協会承認	審査・承認 （地区協会）	
⑧地区協会からHBA U12へ、移籍申請書を送付	・移籍元チームの地区協会は、「移籍申請書」のデータを、HBA U12へ送付する。		HBA U12へ移籍申請書送付	
⑨HBA U12登録担当にて移籍の可否判断	・HBA U12登録担当にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否判断を行います。	HBA U12承認		審査・承認 （HBA U12）
⑩登録料の納付	・都道府県協会が移籍を承認後、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ登録料の徴収はありません。			
⑪登録（移籍）完了				

記入例

U12カテゴリー移籍申請書

申請日：2023年7月1日

U12カテゴリー移籍運用細則に基づき、下記の競技者の登録（移籍）を申請いたします。

■ 申請者（移籍を希望する競技者）

競技者氏名 (フリガナ)	ニホン ハナコ 日本 花子	保護者名 (フリガナ)	ニホン イチロウ 日本 一郎	
メンバーID (9桁)	612345678	生年月日	(西暦) 2013年3月31日 (10歳)	
住所	〒 × × × - × × × × 東京都 × × 区 ▼▲1-2-3 ▲▲マンション101号室			
保護者 電話番号 (日中連絡が取れる連絡先)	090-× × × - × × × ×	保護者 メールアドレス	× × × @ × × × .com	
移籍元チームの在籍期間	2019年4月10日		～ 2023年3月31日	
移籍理由 (移籍運用細則に基づき)	※該当するものにチェック印を入れてください。(移籍条件として、次の1. 2. にあける「特別な事情」がある場合となります。) ※3. その他を選択した場合は、かつこ内に理由を記入してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 転居 <input type="checkbox"/> 2. 人間関係等のトラブル <input type="checkbox"/> 3. その他 ()			

上記の競技者について、登録（移籍）を承諾いたします。

■ 移籍元チーム 承諾欄 (原則、Team JBAの登録情報に基づき、記入してください。代表者はチーム運営において責任ある立場の方とし、申請者の保護者以外の者とします。)

チーム名 (フリガナ)	トウキョウミニバスケットボールクラブ 東京ミニバスケットボールクラブ		(男・女)	
チームID (Tから始まる10桁)	T 460003333	代表者名 (申請者以外の者)	トウキョウ タロウ 東京 一郎	
所在地 (主な活動場所)	〒 × × × - × × × × 東京都文京区〇-▼-▲ 文京区立●●小学校 体育館			
電話番号 (日中連絡が取れる連絡先)	070-× × × - × × × ×	メールアドレス	× × × @ × × × .co.jp	

上記の競技者について、当チームで登録いたしたく、承諾いたします。

■ 移籍先チーム 承諾欄 (原則、Team JBAの登録情報に基づき、記入してください。代表者はチーム運営において責任ある立場の方とし、申請者の保護者以外の者とします。)

チーム名 (フリガナ)	オオサカユージュニアバスケットボールクラブ 大阪U12バスケットボールクラブ		(男・女)	
チームID (Tから始まる10桁)	T 460001111	代表者名 (申請者以外の者)	オオサカ タロウ 大阪 二郎	
所在地 (主な活動場所)	〒 × × × - × × × × 大阪府大阪市■-▽-◇ 大阪市立●●小学校 体育館			
電話番号 (日中連絡が取れる連絡先)	080-× × × - × × × ×	メールアドレス	× × × @ × × × .ne.jp	

※本申請書に記入いただいた個人情報、U12カテゴリーの登録（移籍）に対してのみ利用いたします。



【合同チームの取り扱いについて】

1. 合同チームについて

別紙「大会参加にかかる望ましい学年と合同チームの取扱」をご参照ください。

2. 合同チーム結成の手続きについて

- (1) 別紙「合同チーム理由書」を作成する。
- (2) 地区協会U12部会へ申請
- (3) 地区協会とU12部会で審査、承認
- (4) 地区協会U12部会から、HBA U12部会へ承認申請
- (5) HBA U12部会で審査、承認の上、地区へ返送
- (6) 地区協会から、該当チームへの連絡

3. 年度当初の登録の手続きと大会エントリー手続きについて

(例...AとBの2チームの合同の場合、Aチームの方が人数が多いとする。)

- (1) 年度当初のTeam-JBAに登録は、Aチーム、Bチームそれぞれで行う。
- (2) 大会へのエントリーの際に、Team-JBAを使用する際には、
Aチームの方から大会エントリーの画面に進み、その画面上で、
大会用エントリーシート（別途、地区協会にて作成）にBチームの選手
と合わせ、エントリーを行う。

※ただし、Team-JBAを用いない場合は、地区協会の指示に従う。

サマーフェスティバル、北海道大会、北海道ブロックエリア大会については、
Team-JBAを用いて大会エントリーをしていただく予定です。

以上のようにすると、新たに合同チームを作成したり、結成、解散するときに
移籍手続きを行う必要がありません。

サマーフェスティバル及び北海道大会（地区予選も含む）、ブロックエリア大会 にかかる選手の学年と合同チーム参加の申し合わせ事項

1. 目的

近年、団員の確保が困難な状況から低学年が試合に出場しなくてはならないチームの増加、並びに団員数が大会出場の規定に満たないため、チームの統廃合を余儀なくされている状況等が散見される。

低学年選手が出場し試合を行うことは、格差の違いなどから非常に危険な状態が想定される。また、規定人数に満たないチームが増え、地域内での統廃合が進むことは競技環境整備の基礎となる U-12 世代のチームが地域から無くなることとなり、バスケット界のみならずスポーツ界の普及育成世代の U-12 に欠かせない大きな要因であることから、安易な合併を行わずに大会参加を可能とすることを目的として、サマーフェスティバル並びに北海道大会の本大会及び予選、ブロックエリア大会（以下「ブロック大会等」という。）に参加するメンバーの望ましい選手の選考、および規定人数に満たないチームの参加の準備の申し合わせ事項を、定め幅広く活動できることを目的とする

2. ブロック大会等のプレー上の怪我等の危険回避

チームがブロック大会等に参加する際は、体格および技術面を配慮して、出場を判断するものとする。

3. 合同チームの大会エントリー

JBA登録が8人に満たないチームは、地区協会の承認を得た場合に限り、活動に支障がない範囲の距離にある同一地区内のチームと合同による大会参加を認めるものとする。

合同チームはエントリーする前に構成するチーム事情に関して、地区経由でHBAへ別に定める理由書を提出するものとする。

なお、恣意的に登録しないプレーヤーがいるなど、強化目的と認められる場合は、大会参加の承認を取り消すことができる。

4. 合同チームの解消

合同チームは、次に掲げるいずれかに該当した場合に解消することができる。また、合同チームを解消する場合は、地区協会へ報告するものとする。

- (1) 構成するチームのひとつ以上が規定人数を満たした場合。ただし、構成するチーム間の合意があり、且つ、地区で承認された場合はこの限りではない。
- (2) エントリーした大会が終了した時点。なお、本規定はHBAの独自規定のため、全国大会に関しては、別途JBAと協議を要する。
- (3) 年度の終了時

5. 定めのない事項

この規定に定めのない事項に関しては、HBA が協議し決定する。

大会参加規定【例】

- ・エントリーするプレーヤーは3年生以上を基本とし、チームの意向により2年生以下をエントリーすることができる。※次ページのQ&AのQ1・2を参照
- ・規程人数に満たないチームは近隣のチームと合同で参加することができる。その場合、事前に主催者へ届出するものとする

◆合同チーム理由書◆

※色付きセルは記入不要

申請年月日	西暦 年 月 日								
申請代表者氏名								携帯番号	
チーム名									
所属地区名									
合同チームの構成	人数(3年生以下は参考)							連絡責任者氏名	
JBA登録チーム名	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	計	携帯番号	
①									
②									
③									
計	0	0	0	0	0	0	0		
理 由									
チームの通常練習時の間帯・曜日	月	火	水	木	金	土	日	備考	
①	0								
②	0								
③	0								
大会参加時のチーム名									
地区の意見									
地区受付年月日	西暦 年 月 日								
承認者職・氏名									
HBA U12部会受付年月日	西暦 年 月 日								
承認年月日	西暦 年 月 日								
通知年月日・連絡者	西暦 年 月 日 ・連絡者								

申請書類の情報は、合同チームの調査・連絡・承認に使用するもので、当該業務以外に使用することはありません。

【登録に関する問い合わせについて】

1. 登録内容についての問い合わせについては・・・

各地区協会U12部会登録手続き担当者へ連絡してください。

2. TeamJBA上での問い合わせについては・・・

TeamJBA問い合わせフォームより行ってください。

※北海道バスケットボール協会事務局への問い合わせはできません。

U12 カテゴリー登録運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」という）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12 カテゴリーにおける登録の運用に関して必要な事項を定める。

(対象チーム)

第2条 この細則の対象となるチームは、JBA 基本規程 第3章 所属団体、第2節 加盟チームに定める、加盟種別がU12（以下、「U12 カテゴリー」という）のチームとする。

(対象競技者)

第3条 この細則の対象となる競技者は、登録年度の4月1日時点で12歳未満の者とする。ただし、過年齢であっても小学校に就学している競技者の登録は認める。

(登録の条件)

第4条 U12 カテゴリーのチームに登録する場合は、次の1.2.の条件をともに満たすこと。

1. 競技者の主たる居住地から当該チームの主たる活動場所まで安全に無理なく集合して活動し、活動後は安全に無理なく帰宅できる範囲のチームであること。
2. 競技者の移動中の安全の確保について、当該競技者の保護者が責任をもって行える環境であること。

(雑則) 本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て部会長が行う。

(附則) この細則は2019年4月1日より施行する。

U12 カテゴリー移籍運用細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下、「JBA」という）基本規程の第3章 所属団体、第4章 競技者、第5章 登録および移籍に基づき、U12 カテゴリーにおける移籍の運用に関して必要な事項を定める。

(対象チーム・対象競技者)

第2条 この細則の対象となるチームおよび競技者は、U12 カテゴリー登録運用細則第2条および第3条に定めるチームおよび競技者とする。ただし、U15 カテゴリーのチームに所属する、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U12 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の対象競技者とする。

(移籍の定義)

第3条 U12 カテゴリーにおいては、これまで登録していたチームとは異なるチームに登録することを移籍とする。

1. U12 カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上の競技者が、U15 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則の第4条は適用しない。
2. U15 カテゴリーのチームに登録している、登録年度の4月1日時点で10歳以上12歳未満の競技者が、U12 カテゴリーのチームに移籍する場合は、この細則を適用する。

(移籍の条件)

第4条 この細則の対象となる競技者の移籍は、次の1.2.にあげる「特別な事情」があれば認める。

1. 転居
2. 人間関係等のトラブル

(移籍の回数)

第5条 移籍の回数制限は設けない。

(移籍の承認)

第6条 U12 カテゴリーにおける移籍の承認は、以下の通りとする。

1. 移籍の承認は移籍元チーム及び移籍先チームの所属する都道府県協会が行う。
但し、移籍承認者がU12 カテゴリーのチームの関係者または競技者の関係者である場合は、都道府県協会が別途移籍の承認を行う者を定めること。

(移籍の申請)

第7条 移籍の申請は、次の通りとする。

1. 移籍を申請する者は、「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入し、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行う。
2. 都道府県協会は、移籍の申請を受理してから原則14日以内に移籍の可否を行う。

(雑則) 本細則の改廃は、アンダーカテゴリー部会を経て部会長が行う。

(附則) この細則は2019年4月1日より施行する。

2023年7月1日一部改定

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

U12 カテゴリーの登録および移籍については、2019 年度より、JBA 基本規程および U12 カテゴリー登録運用細則、U12 カテゴリー移籍運用細則に基づき、全国共通の規程にて運用しております。

U12 カテゴリーの移籍については、U12 カテゴリー移籍運用細則および以下の手続き方法をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願いいたします。

■ U12 カテゴリー移籍申請の対象となる方

<移籍にあたって>

- ① 移籍は、「U12 カテゴリー移籍運用細則」第 4 条 1.2.の特別な事情がある場合に認められます。
- ② 登録の年度更新に合わせて所属チームを変更することも移籍とします。

<対象となる選手>

「U12 カテゴリー登録運用細則」第 3 条に定める競技者のうち、U12 カテゴリーで登録している競技者および過去に登録したことがある競技者としてします。

<留意点>

- 「特別な事情（転居、人間関係等のトラブル）があれば移籍を認める」ことは、競技者にバスケットボールの競技環境を保証するためであり、決して強化や勝利至上主義を促すものではありません。
- 移籍は、所定の「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入・捺印の上、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行い、移籍が承認された場合のみ認められます。
U12 カテゴリーの移籍の可否は、都道府県バスケットボール協会によって判断されます。

■ U12 カテゴリー移籍申請 受付期間

U12 カテゴリーの移籍については、随時、申請を受け付けます。

但し、登録受付期間は毎年度 2 月末までとなります。承認まで 2 週間程度かかりますので、移籍手続きは余裕をもって行ってください。

また、2 月以降の移籍申請を行った場合、翌年度登録（移籍）となる場合がございますので、予めご了承ください。

※移籍申請書に記入漏れ等の不備があった場合には、移籍申請が認められない場合や結果通知が遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

※都道府県協会が移籍申請書を受理してから、原則 2 週間程度で移籍の可否を通知しますが、都道府県をまたぐ移籍申請や事務局の休止期間中など、各都道府県協会によって多少前後する場合がありますので、予めご了承ください。

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

■ 移籍申請にあたっての事前準備

手順	詳細
① U12 カテゴリー 移籍申請書を入手	・JBA 公式サイトから「U12 カテゴリー移籍申請書」を入手してください。 【JBA 公式サイト】 http://u12.japanbasketball.jp/registration/
② 移籍申請書に 必要事項を記入	・申請者の欄は、移籍を希望する競技者の保護者が記入してください。 ・日中連絡がとれる連絡先を記入し、移籍理由は選択肢から選んでください。 ※記入漏れや誤りがある場合、移籍承認ができませんので、ご注意ください。
③ 移籍元チームの 承諾を得る	・移籍元(所属)チームの代表者に承諾を得てください。(* 1) ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、 チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が 必要となります。
④ 移籍を希望する チームの承諾を得る	・移籍を希望するチームの代表者に承諾を得てください。 ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、 チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が 必要となります。
⑤ 移籍先チームの 登録担当者へ 移籍申請書を提出	・申請者は、「移籍申請書（全て記入・捺印されたもの）」のデータを、 移籍先チームの登録責任者へ提出してしてください。 ※データは PDF または画像データとし、ファイル名は以下のようにしてください。 「U12 移籍申請書_メンバーID(9桁)_移籍申請者氏名(フルネーム)」 ※データ化する際、移籍申請書全体が写るように撮影してください。

■ 移籍申請手続き


手順	詳細
① TeamJBA にて 移籍申請手続き	・移籍先チームの登録責任者は、TeamJBA「メンバー代理登録申請」より、 競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 ・追加登録の際、「必須項目」を記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の 『移籍申請書（PDF または画像データ）』を添付し、「申請理由」を記入の上、 登録(移籍)申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーID にて登録を行ってください。 ※申請理由には「●●を理由に、●●チーム（移籍先チーム名）への移籍を 希望しているため」と記載してください。
② 移籍元チームの 脱退申請の承認	・移籍元チームの登録責任者は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認して ください。(* 2)
③ 都道府県協会にて 移籍の可否判断	・移籍元チーム及び移籍先チームの都道府県協会にて、「移籍申請書」をもとに、 移籍理由等の確認を行い、移籍の可否が行われます。 ※移籍の可否判断には 2 週間程度かかります。 ※移籍可否の結果は、移籍先チームの登録責任者へ通知されます。
④ 登録料の納付	・都道府県協会が移籍を承認後(* 3)、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ 登録料の徴収はありません。
⑤ 登録(移籍)完了	・TeamJBA（チーム登録責任者）にて、PDF 登録証を出力してください。 ・登録（移籍）手続き完了後、大会に出場できる権利が得られます。但し、 移籍後の大会への出場の可否は大会規程に従ってください。

(* 1) 移籍元（所属）チームが所属選手の移籍を承諾すべきであるにもかかわらず、これを行わない場合は、その旨、移籍元チームが所属する都道府県協会へお申し出ください。

(* 2) 既に移籍元チームで退部処理がされている場合や年度替わりの場合には、移籍元チームの承認作業はスキップされます。

移籍申請の手順について（北海道ブロック）

2023.7.1 HBA U12 改訂版

	申請者及び該当チーム	Team JBA	地区協会	HBA U12部会
①移籍申請書作成	<ul style="list-style-type: none"> 申請書（JBAまたはHBA、地区協会HPよりダウンロードする）の書式に基づき 申請者（競技者の保護者） が作成する。 保護者欄に必ず押印のこと。 			
②移籍元チームの承諾を得る	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元（所属） チーム代表者 の承諾を得て 署名欄に記入、押印を依頼 する。 			
③移籍を希望するチームの承諾を得る	<ul style="list-style-type: none"> 移籍を希望する チーム代表者 の承諾を得て、 署名欄に記入、押印を依頼 する。 			
④移籍先チームの登録担当者へ移籍申請書を提出する	<ul style="list-style-type: none"> 申請者（競技者の保護者） は、「移籍申請書（全て記入されたもの）」のデータを、移籍先チームの登録責任者へ提出する。 （PDFまたは画像） 			
⑤Team JBAにて移籍申請手続き	<ul style="list-style-type: none"> 移籍先チームの登録責任者 は、TeamJBA「メンバー代理申請」より、競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 追加登録の際、「必須項目」の記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の『移籍申請書』を添し、「申請理由」を記入の上、登録（移籍）申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーIDを使用 ※申請理由は、「〇〇を理由に、〇〇チームへの移籍を希望しているため」と記載 		移籍申請後 地区協会 および HBA U12に 承認申請 依頼連絡が 届く。	移籍申請後 地区協会 および HBA U12に 承認申請 依頼連絡が 届く。
⑥移籍元チームの脱退申請の承認	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元チームの登録責任者 は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認してください。 			
⑦地区協会にて移籍の可否判断	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元チームの地区協会にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否判断を行います。 	地区協会承認	審査・承認 （地区協会）	
⑧地区協会からHBA U12へ、移籍申請書を送付	<ul style="list-style-type: none"> 移籍元チームの地区協会は、「移籍申請書」のデータを、HBA U12へ送付する。 		HBA U12へ 移籍申請書送付	
⑨HBA U12登録担当にて移籍の可否判断	<ul style="list-style-type: none"> HBA U12登録担当にて、「移籍申請書」をもとに、移籍理由等の確認を行い、移籍の可否判断を行います。 	HBA U12承認		審査・承認 （HBA U12）
⑩登録料の納付	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県協会が移籍を承認後、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ登録料の徴収はありません。 			
⑪登録（移籍）完了				

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

U12 カテゴリーの登録および移籍については、2019 年度より、JBA 基本規程および U12 カテゴリー登録運用細則、U12 カテゴリー移籍運用細則に基づき、全国共通の規程にて運用しております。

U12 カテゴリーの移籍については、U12 カテゴリー移籍運用細則および以下の手続き方法をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願いいたします。

■ U12 カテゴリー移籍申請の対象となる方

<移籍にあたって>

- ① 移籍は、「U12 カテゴリー移籍運用細則」第 4 条 1.2.の特別な事情がある場合に認められます。
- ② 登録の年度更新に合わせて所属チームを変更することも移籍とします。

<対象となる選手>

「U12 カテゴリー登録運用細則」第 3 条に定める競技者のうち、U12 カテゴリーで登録している競技者および過去に登録したことがある競技者としてします。

<留意点>

- 「特別な事情（転居、人間関係等のトラブル）があれば移籍を認める」ことは、競技者にバスケットボールの競技環境を保証するためであり、決して強化や勝利至上主義を促すものではありません。
- 移籍は、所定の「U12 カテゴリー移籍申請書」に必要事項を記入・捺印の上、TeamJBA（会員登録管理システム）を通じて移籍申請を行い、移籍が承認された場合のみ認められます。
U12 カテゴリーの移籍の可否は、都道府県バスケットボール協会によって判断されます。

■ U12 カテゴリー移籍申請 受付期間

U12 カテゴリーの移籍については、随時、申請を受け付けます。

但し、登録受付期間は毎年度 2 月末までとなります。承認まで 2 週間程度かかりますので、移籍手続きは余裕をもって行ってください。

また、2 月以降の移籍申請を行った場合、翌年度登録（移籍）となる場合がございますので、予めご了承ください。

※移籍申請書に記入漏れ等の不備があった場合には、移籍申請が認められない場合や結果通知が遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

※都道府県協会が移籍申請書を受理してから、原則 2 週間程度で移籍の可否を通知しますが、都道府県をまたぐ移籍申請や事務局の休止期間中など、各都道府県協会によって多少前後する場合がありますので、予めご了承ください。

U12 カテゴリー移籍手続きガイド

2023/7/1 版

■ 移籍申請にあたっての事前準備

手順	詳細
① U12 カテゴリー 移籍申請書を入手	・JBA 公式サイトから「U12 カテゴリー移籍申請書」を入手してください。 【JBA 公式サイト】 http://u12.japanbasketball.jp/registration/
② 移籍申請書に 必要事項を記入	・申請者の欄は、移籍を希望する競技者の保護者が記入してください。 ・日中連絡がとれる連絡先を記入し、移籍理由は選択肢から選んでください。 ※記入漏れや誤りがある場合、移籍承認ができませんので、ご注意ください。
③ 移籍元チームの 承諾を得る	・移籍元(所属)チームの代表者に承諾を得てください。(* 1) ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、 チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が 必要となります。
④ 移籍を希望する チームの承諾を得る	・移籍を希望するチームの代表者に承諾を得てください。 ・チーム代表者名は、移籍を希望する競技者の保護者以外の者で、 チーム運営において責任のある立場の方とし、チーム印もしくは代表者の押印が 必要となります。
⑤ 移籍先チームの 登録担当者へ 移籍申請書を提出	・申請者は、「移籍申請書（全て記入・捺印されたもの）」のデータを、 移籍先チームの登録責任者へ提出してしてください。 ※データは PDF または画像データとし、ファイル名は以下のようにしてください。 「U12 移籍申請書_メンバーID(9桁)_移籍申請者氏名(フルネーム)」 ※データ化する際、移籍申請書全体が写るように撮影してください。

■ 移籍申請手続き

手順	詳細
① TeamJBA にて 移籍申請手続き	・移籍先チームの登録責任者は、TeamJBA「メンバー代理登録申請」より、 競技者の「1人ずつ追加」から、対象となる競技者を追加登録してください。 ・追加登録の際、「必須項目」を記入と、「提出ファイル」に対象となる競技者の 『移籍申請書（PDF または画像データ）』を添付し、「申請理由」を記入の上、 登録(移籍)申請を行ってください。 ※これまで利用していたメンバーID にて登録を行ってください。 ※申請理由には「●●を理由に、●●チーム（移籍先チーム名）への移籍を 希望しているため」と記載してください。
② 移籍元チームの 脱退申請の承認	・移籍元チームの登録責任者は、対象となる競技者の「脱退申請」を承認して ください。(* 2)
③ 都道府県協会にて 移籍の可否判断	・移籍元チーム及び移籍先チームの都道府県協会にて、「移籍申請書」をもとに、 移籍理由等の確認を行い、移籍の可否が行われます。 ※移籍の可否判断には 2 週間程度かかります。 ※移籍可否の結果は、移籍先チームの登録責任者へ通知されます。
④ 登録料の納付	・都道府県協会が移籍を承認後(* 3)、「登録料を納付」してください。 ※年度内、既に登録料を納めている場合、所属都道府県に変更がなければ 登録料の徴収はありません。
⑤ 登録(移籍)完了	・TeamJBA（チーム登録責任者）にて、PDF 登録証を出力してください。 ・登録（移籍）手続き完了後、大会に出場できる権利が得られます。但し、 移籍後の大会への出場の可否は大会規程に従ってください。

(* 1) 移籍元（所属）チームが所属選手の移籍を承諾すべきであるにもかかわらず、これを行わない場合は、その旨、移籍元チームが所属する都道府県協会へお申し出ください。

(* 2) 既に移籍元チームで退部処理がされている場合や年度替わりの場合には、移籍元チームの承認作業はスキップされます。

サマーフェスティバル及び北海道大会、北海道ブロック大会 にかかる選手の学年と合同チーム参加の申し合わせ事項

1. 目的

近年、団員の確保が困難な状況から低学年が試合に出場しなくてはならないチームの増加、並びに団員数が大会出場の規定に満たないため、チームの統廃合を余儀なくされている状況等が散見される。

低学年選手が出場し試合を行うことは、格差の違いなどから非常に危険な状態が想定される。また、規定人数に満たないチームが増え、地域内での統廃合が進むことは競技環境整備の基礎となる U-12 世代のチームが地域から無くなることとなり、バスケット界のみならずスポーツ界の普及育成世代の U-12 に欠かせない大きな要因であることから、安易な合併を行わずに大会参加を可能とすることを目的として、サマーフェスティバル並びに北海道大会、北海道ブロック大会（以下「ブロック大会等」という。）に参加するメンバーの望ましい選手の選考、および規定人数に満たないチームの参加の準用の申し合わせ事項を、定め幅広く活動できることを目的とする

2. ブロック大会等のプレー上の怪我等の危険回避

チームがブロック大会等に参加する際は、体格および技術面を配慮して、出場を判断するものとする。

3. 合同チームの大会エントリー

JBA登録が8人に満たないチームは、地区協会の承認を得た場合に限り、活動に支障がない範囲の距離にある同一地区内のチームと合同による大会参加を認めるものとする。

合同チームはエントリーする前に構成するチーム事情に関して、地区経由でHBAへ別に定める理由書を提出するものとする。

なお、恣意的に登録しないプレーヤーがいるなど、強化目的と認められる場合は、大会参加の承認を取り消すことができる。

4. 合同チームの解消

合同チームは、次に掲げるいずれかに該当した場合に解消することができる。また、合同チームを解消する場合は、地区協会へ報告するものとする。

- (1) 構成するチームのひとつ以上が規定人数を満たした場合。ただし、構成するチーム間の合意があり、且つ、地区で承認された場合はこの限りではない。
- (2) エントリーした大会が終了した時点。なお、本規定はHBAの独自規定のため、全国大会に関しては、別途JBAと協議を要する。
- (3) 年度の終了時

5. 定めのない事項

この規定に定めのない事項に関しては、HBAが協議し決定する。

大会参加規定【例】

- ・エントリーするプレーヤーは3年生以上を基本とし、チームの意向により2年生以下をエントリーすることができる。※次ページのQ&AのQ1・2を参照
- ・規程人数に満たないチームは近隣のチームと合同で参加することができる。その場合、事前に主催者へ届出するものとする

Q & A

Q 1	2年生2人を入れて10人で登録した場合、2年生を除いたメンバー8人で試合に望むことは可能ですか。
A 1	2年生を登録した段階で「特例プレーヤー」とみなすため、試合に出場しなくてはなりません。出場させないのであれば、エントリーはしないでください。
Q 2	特例プレーヤーを登録する際に特別な届け出は必要ですか。
A 2	登録した段階で「特例プレーヤー」の登録意思表示とみなします。また、公式戦はこれまでどおり全て保護者の参加同意書を提出する必要がありますが、その中に「特例プレーヤーとして参加すること」の同意を加えます。
Q 3	合同するチーム先は、同じように規定人数に満たないチームでしょうか。
A 3	近隣に同様のチームがあれば、双方のチームを救済できますが、単独チームとの合同も可能とします。この場合、合同チームにすることで単独チームの6年生が試合に出られなくなることは回避することを念頭に合同先を地区U12部会と話し合ってください。
Q 4	Xチーム6人、Yチーム2人の2チームによる合同チームです。ブロック大会予選で敗退した後、Xチームが単独で8人となりましたが、合同を解消し、Yチームは別なチームと合同とすべきでしょうか？
A 4	合同はあくまでも暫定措置なので、今後増える見込みがあるのであれば、解消することを検討すべきです。一方で、相手チームとの兼ね合いもあり、もう一方のチームが新たに合同として受け入れてくれるチームを探すことが困難な状況であることや規定人数を満たしたと言ってもギリギリな人数であれば不安定であることを考慮し、解消を見送ることも認めるものとします。なお、年度内の次の大会に参加する場合は改めて申請が必要となります。
Q 5	予選ごとに理由書を提出し、承認を得るとのことですが、年度当初に承認されれば通年で参加を認めるということにはなりませんか。
A 5	少子化が進む地域では、予選が始まる春先に規定人数に満たないチームが出る可能性があるため、一時的な救済措置として認めるものです。その後の状況の変化も有り得ることから大会ごとに承認することとしています。 一方、合同チームで勝ち上がりが見込まれるため、恣意的に募集を怠った場合は、「強化目的にチーム」とみなし、承認を取り消します。
Q 6	ユニフォームは各チームのものを着用してもいいのでしょうか。
A 6	本大会は競技規則に基づき、同一のものを着用することになりますが、地区での予選については、地区U12部会の判断に委ねます。
Q 7	強化目的のチームとなる条件とはどのようなものでしょうか。
A 7	意図的に団員を登録しない、或いは募集しないで勝ち上がりが見込めるチームと合同になることをはじめ、能力があるプレーヤーを選び好みしながら入団させるようなことを指します。一度承認した後このような事案が判明した場合は、直ちに承認を取り消します。

コーチ・スタッフの取扱について

2024年3月
HBA U12 競技会企画運営G

1. コーチライセンスの意義について

JBA コーチライセンス制度とは（JBA ホームページより抜粋）

コーチライセンスを取得することによって、コーチに必要な知識・能力等を身に付け、プレーヤーにとって安心・安全な環境を構築すること。また、バスケットボールをはじめとしたスポーツの楽しさを広げていくこと、さらには人間力・競技力の向上に寄与することを目的としています。

より多くのプレーヤーがバスケットボールを通じて楽しさを感じ、また、人間として、プレーヤーとして成長できるような環境を作るためには、コーチ自身が人間力を高め、プレーヤーやチームの状況、ニーズに応じて適切な支援をすることが必要です。

また、残念ながらバスケットボール界においては、指導現場における様々な問題（暴力・暴言・ハラスメント等）があるのも事実であり、そういった意味でもバスケットボールの知識だけではなく、人間力を備えたコーチの要請が求められています。

『コーチライセンスは、よりよい指導者としての人間力を高めるための制度です！』

2. 本大会における指導者ライセンスについて

<指導者登録について>

- (1) ベンチに入って、指揮を執る可能性のある指導者は、選手と同様に9月末までに、コーチまたはスタッフとしてチームへの登録を行ってください。期限以降の登録や移籍があっても大会への参加は認められません。
- (2) ベンチに入って指揮を執ることができるのは、原則、D級コーチライセンス以上を有する方とします。※サマーフェスティバルのみ、特例としてE級コーチライセンスを認めています。
- (3) 今年度より、大会エントリー時のスタッフ欄の表記を以下のようにします。

- ①ヘッドコーチ（D級コーチライセンス以上が必要）
- ②アシスタントコーチ（コーチライセンスを保持することが望ましい）
- ③アシスタントコーチ（コーチライセンスを保持することが望ましい）
- ④マネージャー（コーチライセンス不要、9月末以降のJBA登録も可）

※アシスタントコーチの内、1名をファーストアシスタントコーチとします。

※D級以上を保持するヘッドコーチ、ファーストアシスタントコーチが種々の権限をもちます。

※①～③のうち、最低1名以上がコーチライセンス（D級以上、サマーフェスティバルのE級以上も可）を保持していることとします。

※不測の事象が発生した場合に備えて、ヘッドコーチ以外にもコーチライセンスを保持する者がエントリーされることが望ましいです。

※「1. コーチライセンスの意義」をもとに、アシスタントコーチにはチーム登録時にE級コーチライセンス以上の取得を促す。

なお、各種大会の開催要項には、ファーストアシスタントコーチを定義した表現にはなっていません。

2023 バasketボール競技規則

「ミニBasketボールにおける適用規則の相違点」の「はじめに」の欄に・・・

「FIBA 競技規則に倣い、競技規則内の語句は変更していますが、「ヘッドコーチ」「ファーストアシスタントコーチ」の呼称につきましては、国内では従来通り、「コーチ」「アシスタントコーチ」のままいたします。」

この項目に準じているためです。

各種大会では、大会エントリー時に、アシスタントコーチでエントリーされた方のうち、スコアシートのアシスタントコーチの欄にサインされた方を、ファーストアシスタントコーチとします。

(3) 本大会期間中に想定される事項

【確認事項①】 試合中に、ヘッドコーチが指揮を執れなくなった場合について

「ヘッドコーチが役目を継続できずスコアシートに記載されたアシスタントコーチ、チーム関係者も役目を継続できない場合、大会主催者が認めた保護者等がヘッドコーチとしての役目を引き継ぐことができる。キャプテンの規定については適用しない」

(2023 バasketボール競技規則、ミニBasketボールにおける適用規則の相違点より抜粋)

→これに準ずるものとします。

【確認事項②】 ヘッドコーチの役目を引き継ぐことを保護者等に認める大会主催者とは？

サマーフェスティバル・北海道大会・北海道ブロック大会では、上記内容の通り対応いたします。
各地区予選会は、各地区が主催者になりますので、地区内で対応してください。

【確認事項③】 ヘッドコーチが指揮を執れなくなった場合、ライセンスを保有していないファーストアシスタントコーチがタイムアウトを請求するのは可能か？

サマーフェスティバル・北海道大会・北海道ブロック大会では、上記ルールブック記載の「大会主催者が認めた保護者等がヘッドコーチとしての役目を引き継ぐことができる。」に準じて、タイムアウト請求の権限を与えることとします。(ライセンス保持者ではなくても良いこととします。)

【確認事項④】 大会当日に事情によりライセンス保有のコーチが不在の場合の処置はどうするのか？

試合前日まで、もしくは試合当日に、ライセンス保持者がやむを得ない事由により不在となる場合は、別紙報告書を提出することを条件に、大会エントリー時にスタッフ欄に登録されている者にヘッドコーチの権限を与えることとします。

(ヘッドコーチ → アシスタントコーチ → マネージャーの順に権限を与える。)




【確認事項⑤】 1人以上3人以内のアシスタントコーチまたはチーム関係者をチームに登録すること

1人以上最大2人のアシスタントコーチを必ず置くこと。チームにアシスタントコーチがいない場合でも、ゲーム継続担保の配慮から、チーム代表者や保護者代表をアシスタントコーチおよびチーム関係者としてチーム構成に加えること。(2023 バasketボール競技規則、ミニBasketボールにおける適用規則の相違点より抜粋)

→上記に伴い、TeamJBAでのチーム登録の際に、スタッフ欄に上記該当者に加えること。

2023年2月12日

2023年度以降のコーチライセンス更新制度の改定について

TOPIC 01		「毎年次研修」、「ライセンス別研修」を新たに導入します (2023年度～導入)
TOPIC 02		リフレッシュポイント数をライセンス別に変更します (2027年度～適用)
TOPIC 03		取得したリフレッシュポイントに応じたステータス制度を導入します (2024年度～導入)

JBAでは、2023年度以降コーチライセンスの更新制度の改定を行うことといたしました。

変更の具体的な内容、導入スケジュール等は以下の通りとなります。

※2023年度のコーチライセンスの更新において必要なリフレッシュポイントは現行通り2ポイントで変更ありません。

制度改定の経緯

2019年度にコーチライセンス制度の改定を行い、コーチが常に学び続けることを促進するために、ライセンス別に必要なリフレッシュポイントを変更し、必要なリフレッシュポイント取得期間（4年間）を設け、2023年度の更新時より適用することを決定しました。

その後、2020年2月頃より新型コロナウイルス感染症が流行し、リフレッシュポイント取得機会が十分に設けられていなかったことを踏まえ、2022年4月には、2023年度の更新時の適用を見送ることとし、ライセンス別のリフレッシュポイント数の導入適用時期の変更に限らず、コロナ禍で進んだオンラインやオンデマンド等による講習などの活用も含めてライセンスの更新制度の在り方等について再検討することといたしました。

更新制度の意義／改定の趣旨・目的

コーチングに必要な知識やスキルが年々更新・変化する中において、コーチは常に知識やスキルをアップデートしていくことが求められます。数年前の常識が今では非常識といったことはめずらしくなく、また、変化・進化のスピードは年々早まっています。

そのため、取得したライセンスに応じた知識やスキルをアップデートし、コーチ自身が成長し続けることが不可欠であることから、以下の観点でコーチライセンスの更新制度の改定を行うことといたします。

- 1) 全てのコーチに知ってもらいたい内容を定期的に届けられるようにすること
- 2) 各ライセンスに応じた研修内容を提供すること
- 3) 学び続けることを促進する制度とすること

改定内容

① 毎年次研修の導入

目的	全てのコーチが知っておくべき必須の内容（インテグリティや安全管理に関する内容など）を学べるようにする。
内容・方法	20 分程度の動画コンテンツを毎年度のコーチライセンス更新手続き時に視聴必須とする。 更新手続きが必要ない E・E-1・E-2 級コーチライセンス保持者においても、毎年次研修の動画の視聴は必須とする。
対象	JBA 公認 S・A・B・C・D・E・E-1・E-2 級コーチライセンス
導入時期	2023 年度～
受講料	無料
備考	毎年次研修ではリフレッシュポイントは付与されません。

② ライセンス別研修の導入










目的	取得したライセンスに応じた知識・スキルを習得できるようにする。 （カリキュラムは定期的に更新・変更されるため、最新の内容を過去のライセンス取得者にも提供する。）
内容・方法	各ライセンス別に学ぶべき内容を動画コンテンツとして提供する。 また、一部ライセンス別の対面またはオンラインでの研修を開催する。（B 級以上） ライセンス別研修は 4 年に 1 回の受講を必須とする。
対象	JBA 公認 S・A・B・C・D 級コーチライセンス
導入時期	研修の導入：2023 年度～（研修の受講方法などは別途案内） 更新要件としてのチェック：2027 年度～ （2023 年度～2026 年度の 4 年間の 1 回受講していることが 2027 年度の更新要件となる。）
受講料	研修内容に応じて設定
備考	ライセンス別研修ではリフレッシュポイントは付与されません。

③ライセンス別リフレッシュポイント数の変更

目的	<p>様々なテーマの研修からコーチ自身の関心に基づいて学べるようにする。</p> <p>上級のライセンス取得者においては、ライセンスに応じてより多くの機会を自らをアップデートできるようにする。</p>								
内容・方法	<p>JBA または都道府県協会にて開催するリフレッシュ研修を受講する。</p> <p>リフレッシュ研修は、対面（集合）、オンライン、オンデマンドにて開催する。</p> <p>（1.5 時間で 1 ポイントを原則とし、各リフレッシュ研修で設定されたリフレッシュポイントが取得可能となる。）</p>								
対象	JBA 公認 S・A・B・C・D 級コーチライセンス								
ライセンス別ポイント数	<p>ライセンス別のリフレッシュポイント数は以下の通り。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ライセンス</th> <th>リフレッシュポイント数（4 年間の累計）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S 級・A 級</td> <td>6 ポイント</td> </tr> <tr> <td>B 級</td> <td>4 ポイント</td> </tr> <tr> <td>C 級・D 級</td> <td>2 ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 従来通り、取得したポイントは取得年度含めて 4 年間有効</p> <p>* 更新時に直近 4 年間の累計ポイントが上記ポイントに達していることが更新要件となる</p>	ライセンス	リフレッシュポイント数（4 年間の累計）	S 級・A 級	6 ポイント	B 級	4 ポイント	C 級・D 級	2 ポイント
ライセンス	リフレッシュポイント数（4 年間の累計）								
S 級・A 級	6 ポイント								
B 級	4 ポイント								
C 級・D 級	2 ポイント								
導入時期	<p>更新要件としてのチェック：2027 年度～</p> <p>（2023 年度～2026 年度の 4 年間の累計ポイントが上記ポイントに達していることが 2027 年度の更新要件となります。）</p>								
受講料	研修毎に設定								
備考	—								

④リフレッシュポイントの取得状況に応じたステータス制度の導入

目的	毎年次研修、ライセンス別研修、最低限のリフレッシュ研修を受講するだけでなく、継続的により多くの学びを得るためのきっかけ、モチベーションとする。				
内容・方法	毎年度一定以上のリフレッシュポイントを取得した場合に称号となるステータスを付与し、ステータスに応じた特典（インセンティブ）を設定する。				
	条件	特典（インセンティブ）			
ステータス（称号）	過去 4 年間の取得ポイント	PDF 登録証への表示	限定デジタルコンテンツ（*1）	イベント優待（*2）	表彰（*3）
ブロンズ	毎年度 2p 以上	○	○	—	—
シルバー	毎年度 4p 以上	○	○	○	—
ゴールド	毎年度 6p 以上	○	○	○	○
	（*1）オンラインミーティング背景壁紙など				
	（*2）コーチクリニック等 JBA 主催イベントの優先入場・優先席、限定研修会参加権利など				
	（*3）5 年・10 年連続達成者の表彰など				







対象	JBA 公認 S・A・B・C・D 級コーチライセンス																				
導入時期	<p>2024 年度から段階的に導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ↳2024 年度：2022 年度～2023 年度の <u>2 年間の実績</u> に応じてステータスを反映 (例：2 年連続 2p でブロンズ) ↳2025 年度：2022 年度～2024 年度の <u>3 年間の実績</u> に応じてステータスを反映 (例：3 年連続 2p でブロンズ) ↳2026 年度以降：前年度までの直近 <u>4 年間の実績</u> に応じてステータスを反映 (例：4 年連続 2p でブロンズ) 																				
<p>ステータス獲得イメージ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2022 年度</th> <th>2023 年度</th> <th>2024 年度</th> <th>2025 年度</th> <th>2026 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2p</td> <td>2p</td> <td> ブロンズ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2p</td> <td>2p</td> <td>2p</td> <td> ブロンズ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2p</td> <td>2p</td> <td>2p</td> <td>2p</td> <td> ブロンズ</td> </tr> </tbody> </table>		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2p	2p	 ブロンズ			2p	2p	2p	 ブロンズ		2p	2p	2p	2p	 ブロンズ
2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度																	
2p	2p	 ブロンズ																			
2p	2p	2p	 ブロンズ																		
2p	2p	2p	2p	 ブロンズ																	
備考	特典（インセンティブ）の内容は変更される可能性があります。																				

ライセンス別の更新要件一覧

	現行		新制度		
	リフレッシュ研修		毎年次研修	ライセンス別研修	リフレッシュ研修
S 級	2p	➔	○	○	6p
A 級	2p	➔	○	○	6p
B 級	2p	➔	○	○	4p
C 級	2p	➔	○	○	2p
D 級	2p	➔	○	○	2p
E・E-1・E-2 級	—	➔	○	—	—

※新制度の毎年次研修は 2023 年度から、ライセンス別研修とリフレッシュ研修（リフレッシュポイント）は 2027 年度の更新時から適用されます。

改定スケジュール

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028..	
毎年次 研修		導入開始 	2023年度の更新時より毎年次研修を受講					
ライセンス 別研修		導入開始 	ライセンス別研修受講期間				更新要件 変更 	
リフレッシュ 研修	継続実施 		リフレッシュポイント取得期間				更新要件 変更 	
ステータス 制度			実績判定期間 ステータス 反映開始 	2024年度・2025年度は移行期間として2年間 または3年間の実績をもとにステータスを反映 2026年度以降は4年間の実績をもとにステータス を反映				

補足

- 講習会・研修会の講師や育成センターのコーチ等に付与される指導ポイントについては、変更ありません。
- コーチライセンスを失効した場合の復活・再認定の要件等も変更になります。詳細は別途ご案内します。
- 各研修の受講状況などは、2024年度以降 TeamJBA の画面上で確認できるようになります。2023年度中は現行通りの表示のままとなりますのでご了承ください。

Q&A

Q：2023年度は何ポイントあれば更新できますか？

A：2023年度～2026年度までは現行通りリフレッシュポイントは2ポイントで変更ありません。（D級以上のコーチ全て共通です。）

2023年度～2026年度までは「①リフレッシュポイント：2ポイント以上取得していること」、「②毎年次研修を受講（視聴）すること」が更新要件となります。

Q：毎年次研修はいつどうやって受ければよいですか？

A：3月中旬に対象の方にメールでご案内します。D級以上のコーチはライセンスの更新手続き前に受講（視聴）してください。E級・E-1級・E-2級コーチは5月末までに受講（視聴）してください。

Q：ライセンス別研修はいつ受ければよいですか？

A：2023年度から2026年度のうちに受講してください。その後はライセンス別研修の受講年度から4年以内に受講してください。ライセンス別研修の受講内容や受講方法については、後日、別途ご案内します。

Q：E級コーチライセンスを持っています。更新手続きは必要ですか？

A：E級コーチライセンスは受講年度含めて4年間有効なライセンスとなるため、更新手続きは必要ありません。ただし、毎年次研修は毎年必ず受講（視聴）する必要があります。

Q：E-1級（またはE-2級）コーチライセンスを持っています。更新手続きは必要ですか？

A：E-1級・E-2級コーチライセンスの有効期限は2023年度末までとなります。更新手続きは必要ありませんが、2023年度は毎年次研修を必ず受講（視聴）する必要があります。

Q：ライセンス別研修は受けていて、リフレッシュポイントが足りない場合はどうなりますか？

A：2027年度以降、毎年次研修、ライセンス別研修、リフレッシュ研修（リフレッシュポイント）のすべて要件を満たしていないとコーチライセンスの更新ができなくなります。

以上

【心停止の対応】

- 日本医師会「心肺蘇生法の手順」

<https://www.med.or.jp/99/cpr.html>

- JBA 緊急時対応計画（*見本です。ご自身の活動環境に合わせてアレンジしてください）

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/13_JBA_9_EMERGENCY_plan__NTC_202402.pdf

- JBA 緊急時連絡カード（*見本です。ご自身の活動環境に合わせてアレンジしてください）

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/12_EMERGENCY-CONTACT_card_20190401.pdf

- 栃木県高等学校体育連盟「危機管理マニュアル」

<https://tochigi-koutairen.jp/safetymanagement/#sec3>

【脳震盪の対応】

- 脳震盪を疑ったときのツール「脳震盪認識ツール（一般人）：CRT 5，日本語版」

<http://sports.hc.keio.ac.jp/ja/athlete-support/files/2020/5/8/26f5c581548b9dd3b074a24343ad8704.pdf>

- スポーツ脳震盪評価ツール6（13歳以上）「SCAT6，英語版」

<https://passport.world.rugby/media/laxlusar/scat6.pdf>

- 頭部外傷10か条の提言（第2版）：日本臨床スポーツ医学会

<https://concussionjapan.jimdofree.com/>

- スポーツ現場における脳振盪への対策

<http://sports.hc.keio.ac.jp/ja/athlete-support/medical/src.html>

【ケガの対応】

- Peace and love（英語版）

<https://bjism.bmj.com/content/bjsports/54/2/72.full.pdf>

- JBA スポーツパフォーマンスライブセミナー、その他の情報

<http://www.japanbasketball.jp/coach/contents/01>

* 時期によってリンク切れになっている場合があります。

* 内容は日進月歩で変化します。最新の情報はご自身で検索、取得してください。

第44回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権

大会要項

大会名称	第44回 春季札幌地区ミニバスケットボール選手権 兼 第45回 夏季北海道サマーフェスティバル札幌地区予選会 第38回 市長杯争奪春季札幌地区ミニバスケットボール少年団交流大会
主催	一般財団法人 北海道バスケットボール協会 札幌地区バスケットボール協会 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 札幌市スポーツ少年団
共催	公益財団法人 北海道スポーツ協会 北海道スポーツ少年団
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 札幌市スポーツ少年団 ミニバスケットボール専門部
協賛	未定
後援	札幌市
開催期間	・2024年5～6月(6月30日までに順位を決定する)
会場	・各ブロック小学校体育館 美香保体育館(6/23、6/29、6/30) 他
競技方法	・各ブロック男女とも大会エントリーチームによるトーナメント優勝戦とする。
参加資格	・2024年度(2024年5月31日まで)において、JBAに加盟されたチーム及び登録された競技者、指導者であること。 ・ヘッドコーチはD級以上(特例でE級を認める)、アシスタントコーチはE級以上。
競技規則	・「バスケットボール競技規則 2024」、「ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年4月1日改訂版)」による。 ・試合球 男子…モルテン 女子…ミカサ
感染症対策	・JBA「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.5.12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.5.8)を基本とする。 ・札幌地区U12独自の大会ガイドラインは別途定めのないものとする。
その他	・大会エントリーは teamJBA から行う。 ・参加料は 13,000 円とする。 ・この大会の成績上位チームを北海道サマーフェスティバル(北海道大会)への参加に推薦する。

第53回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権

大会要項(案)

大会名称	第53回 秋季札幌地区ミニバスケットボール選手権 兼 第50回 北海道大会予選会 第39回 市長杯争奪札幌地区ミニバスケットボール少年団交流大会
主催	一般財団法人 北海道バスケットボール協会 札幌地区バスケットボール協会 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 札幌市スポーツ少年団
共催	公益財団法人 北海道スポーツ協会 北海道スポーツ少年団
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 札幌市スポーツ少年団 ミニバスケットボール専門部
協賛	未定
後援	札幌市
開催期間	・2024年10～11月(11月30日までに順位を決定する)
会場	・各ブロック小学校体育館 厚別区体育館(11/16、11/17) 江別市民体育館(11/23、11/24) 他
競技方法	・各ブロック男女とも大会エントリーチームによるトーナメント優勝戦とする。
参加資格	・2024年度(2024年9月30日まで)において、JBAに加盟されたチーム及び登録された競技者、指導者であること。 ・ヘッドコーチはD級以上、アシスタントコーチはE級以上。
競技規則	・「バスケットボール競技規則 2024」、「ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年4月1日改訂版)」による。 ・試合球 男子…モルテン 女子…ミカサ
感染症対策	・JBA「5類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023.5.12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第12号通知」(2023.5.8)を基本とする。 ・札幌地区U12独自の大会ガイドラインは別途定めないものとする。
その他	・大会エントリーはteamJBAから行う。 ・参加料は13,000円とする。 ・この大会の成績上位チームを北海道大会、北海道ブロック大会への参加に推薦する。

札幌地区U12リーグ 2024

大会要項(案)

大会名称	札幌地区 U12 リーグ 2024
主催	札幌地区バスケットボール協会
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック
開催期間	前期リーグ (SPRING LEAGUE) 2024 年 4 ~ 5 月 中期リーグ (AUTUMN LEAGUE) 2024 年 8 ~ 10 月 後期リーグ (WINTER LEAGUE) 2025 年 1 ~ 3 月
会場	各ブロック 小学校体育館 他
競技方法	<ul style="list-style-type: none">各ブロックの大会エントリーチームによる交流戦とする。 (ブロックを越えての試合が可能か、今後検討していく)1 チームあたり年間 10 試合程度とする。感染症の状況やブロックの実態を踏まえながら、試合数を確保できるよう努める。
参加資格	<ul style="list-style-type: none">2024 年度において、JBA に加盟されたチーム及び登録された競技者、指導者であること。
競技規則	<ul style="list-style-type: none">「バスケットボール競技規則 2024」、「ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023 年 4 月 1 日改訂版)」を基本とする。3 ポイント、交代、ハーフタイムの有効利用などを適宜導入することも可能とする。より多くのプレイヤーに試合出場の機会を保障できるよう努める。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none">JBA「5 類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023. 5. 12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第 12 号通知」(2023. 5. 8)を基本とする。札幌地区 U12 独自の大会ガイドラインは別途定めないものとする。
その他	<ul style="list-style-type: none">大会参加費は、通年で 1,000 円とする。会場費や会場設営費など必要に応じて、各期ごとに定めるものとする。

2024 年度 札幌地区U12新人大会

大会要項(案)

大会名称	2024 年度 札幌地区 U12 新人大会
主催	札幌地区バスケットボール協会
主管	札幌地区バスケットボール協会 U12 部会 各ブロック
後援	札幌市
開催期間	2024 年 12~2025 年 2 月
会場	各ブロック 小学校体育館 他
競技方法	<ul style="list-style-type: none">各ブロック男女とも大会エントリーチームによる。大会形式は検討中。
参加資格	<ul style="list-style-type: none">2024 年度において、JBA に加盟されたチーム及び登録された競技者、指導者であること。
競技規則	<ul style="list-style-type: none">「バスケットボール競技規則 2024」、「ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023 年 4 月 1 日改訂版)」による。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none">JBA「5 類感染症位置づけ変更後の基本的な感染対策について」(2023. 5. 12)、HBA「新型コロナウイルス感染症ガイドライン第 12 号通知」(2023. 5. 8)を基本とする。札幌地区 U12 独自の大会ガイドラインは別途定めないものとする。
その他	<ul style="list-style-type: none">大会エントリーは teamJBA から行う。参加料は 8,000 円とする。

第2回北海道ブロック道央大会(小樽・南空知・札幌地区)

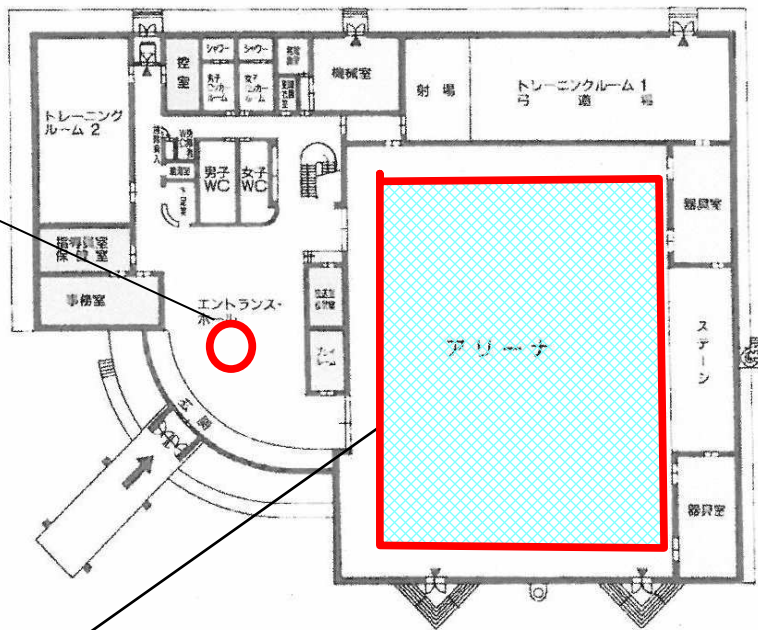
大会要項

大会名称	2023年度 第2回北海道ブロック道央大会
主催	北海道バスケットボール協会
主管	小樽地区バスケットボール協会 南空知地区バスケットボール協会 札幌地区バスケットボール協会
開催期間	2024年2月10日(土)・11日(日)
会場	当別町総合体育館(石狩郡当別町白樺町2792番地)
競技方法	男女各最大14チームによる交流戦とする。 ※小樽・南空知地区 男女2チームずつ。 札幌地区 各ブロック男女2チームずつ。
参加資格	<ul style="list-style-type: none">・2023年度(2023年9月30日まで)において、JBAに加盟されたチーム及び登録された競技者であること。・各地区から北海道大会への推薦とならなかった次点のチームが、優先して推薦されるものとする。
競技規則	<ul style="list-style-type: none">・「2023バスケットボール競技規則」、「ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」、「マンツーマンディフェンスの基準規則(2023年4月1日改訂版)」による。・6年生が所属している場合は、そのキャリアを問わず、出場時間を最大限確保する。・3ポイントの適用、交代自由などのルールは別途定められる。・ハーフタイムは5分間とし、試合に出ていない子の交流戦を行う。 ※これらは、北海道バスケットボール協会の定めるところに準ずる。
感染症対策 その他	<ul style="list-style-type: none">・北海道バスケットボール協会の定めることに準ずる。

札幌地区バスケットボール協会
U-12部会 総会 会場図

平面図

1階

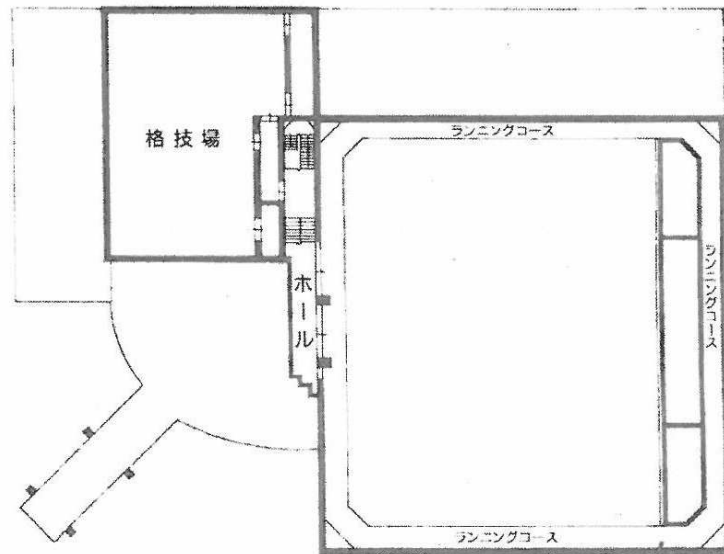


受付

椅子は用意しないので、座布団を持参してください。

床を傷つける可能性のある椅子は利用できないので持参しないようにしてください。

2階



上履きと外靴を持ち運ぶ袋を持参してください。

2024年4月13日 札幌地区U-12部会総会 駐車場位置図

乗用車駐車場

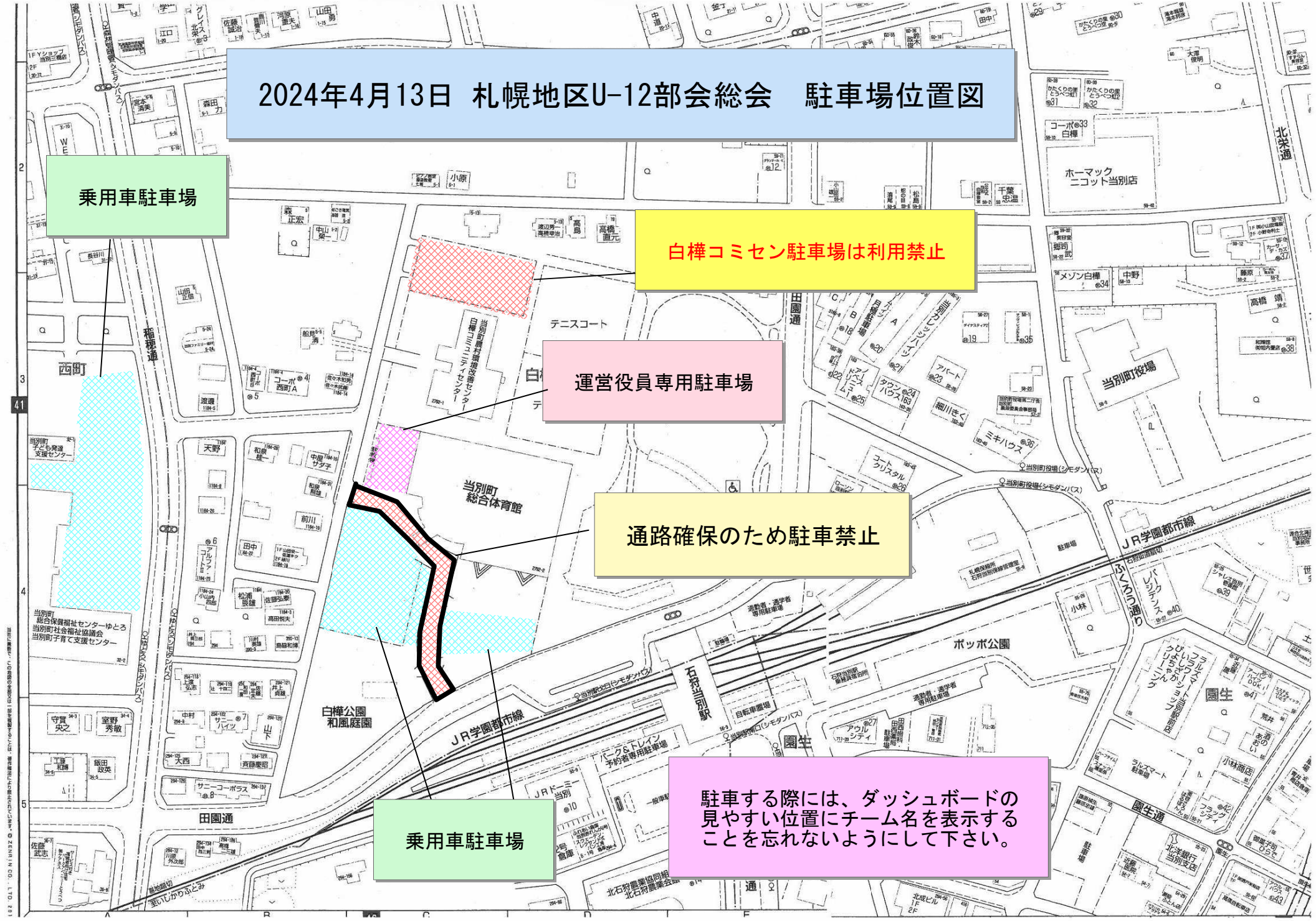
白樺コミセン駐車場は利用禁止

運営役員専用駐車場

通路確保のため駐車禁止

乗用車駐車場

駐車する際には、ダッシュボードの見やすい位置にチーム名を表示することを忘れないようにして下さい。



2024年度 札幌地区バスケットボール協会 U12部会 インテグリティ研修

2024年4月13日

【ねらい】

- ①インテグリティの周知を行い、子どもたちが健やかに楽しくバスケットボールを行える環境づくりを行う。
- ②暴力、暴言の根絶に向けて指導者、保護者の意識改革を推進する。
- ③U12カテゴリーの指導指針・指導方法について考えるきっかけをつくる。

2. インテグリティについて

 **CLEAN** / Basketball The Game ~ 暴力暴言根絶 ~

- 「インテグリティ」とは、『誠実さ』『真摯さ』『高潔さ』を表す。
- インテグリティに基づき、人間力・指導力・組織力を高め、JBA指針の「クリーン・バスケットボール、クリーン・ザ・ゲーム」に則り、暴力暴言の根絶を目指す。
- クリーン・バスケットボール…バスケットボールファミリー全員の協力によりバスケットボールの価値を高めるための「オフコートでのあり方」
- クリーン・ザ・ゲーム…ゲームに関わるプレイヤー、コーチ、審判すべての協力でゲームの価値を高めるための「オンコートでのあり方」

3. 暴力暴言について

【コーチのプレーヤーに対する暴言】

- (1) 人格、人権、存在を否定する言葉…最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ぬ、てめえ、この野郎、貴様
- (2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉…役立たず、下手くそ、アホ、バカ
- (3) 身体的特徴をけなす言葉…チビ、デブ
- (4) 恐怖感を与える言葉…殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？試合出たくないの？

【コーチの暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）】

- (1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為
- (2) プレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為
- (3) 「おい！」「こら！」と大声でプレーヤーを高圧的威嚇的に指導する行為
- (4) 継続的、かつ、度を越えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為
- (5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

【第三者が不快と感じる振る舞い（行動・行為）】

4. 暴力暴言の根絶に向けて

- 指導のつもりで発した言葉が、暴言となっていないか？
- 「自分は一生懸命指導をしているだけだ」と本人は思っている、第三者から見た場合、明らかに暴言だと認識される場合もある。
- 自分の気付かないうちに、こういった言葉を出していないか、今までの指導の在り方や考え方を正当化せず、客観的に見つめ直す必要がある。

育成マインドの必要性

U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つづのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思えます。

<やってほしいこと>

- ・はげます
- ・元気づける
- ・委ねる
- ・引きだす・導く
- ・判断させる
- ・主体性を育てる

ナイスプレー！
その調子！！



<やってほしくないこと>

- ・怒る
- ・怒鳴りつける
- ・指示ばかりする
- ・威圧する
- ・判断させない
- ・支配する



みなさんの指導は
どうですか？

5. 育成マインド

(1) 育成マインドの定義

プレイヤー個々の成長過程を重視する考え方

- ① 課題の与え方、課題を考えさせるコーチング
- ② 将来を見据えた勝敗を目指すプロセス、勝敗結果の捉え方
- ③ オーナーシップ(自分自身で責任をもつ・主体性)を育む

- U12世代では、勝利主義ではなく、バスケットボールを通じて元気になり、のびのびと取り組める環境づくりが大切。
- 子どもたちの「楽しさ」の気持ちを中心に、試合に勝つことだけではなく、上達して認められたとき、仲間と一緒にプレーしているとき等、子ども一人一人の「楽しさ」を認め、見守ってほしい。
- スポーツは、嬉しさだけでなく、うまくいかない挫折も経験する。仲間との人間関係から生まれる絆、チームルールを守ることで身に付く規範意識など、様々な経験をすることができる。

5. 育成マインド

(2) 育成マインドの必要性

① バスケットボールはお互いの戦術を阻止し合うスポーツ

⇒ プレーヤーのオーナーシップを育む

「戦術が阻止された後でも個で打開できる能力」「自身の判断で戦術を超えられる能力」がトッププレーヤーに求められる。コーチの指示を従順に遂行するだけのプレーヤーは、最高のプレーヤーとは捉えられない。

② バスケットボールから人生を学ぶ ⇒ 将来を見据えて

プレーヤーが主体性をもち、仲間と共に課題の解決に向かって取り組み、自己実現を目指す。バスケットボールを通じて学べることを、コーチはプレーヤーに気付くように働きかける。

③ 育成マインドの普及で「日本を元気にする」

6. 育成世代のコーチングとは

【具体的なコーチ行動】

①課題を与えて考えさせるコーチング

「できない子どもが気付くようにヒントを与える」

⇒大人が、子どもの課題を見つけたり、解決したりするのではなく、子ども自らが課題を発見したり、解決したりできるように大人が助言や支援をする。

②将来を見据えた勝敗を目指すプロセス、勝敗結果の捉え方

「勝利を目指す過程で、人間性を育てる」（謙虚さ・寛容さ・協調性・自立）

⇒トライ（挑戦）&エラー（失敗）を認める。「全力」で取り組んだ結果、ゲームに負けたとしてもそれは失敗とはならない。相手を称えることや、自ら成長する機会と捉えさせる。

③オーナーシップをもつ自立したプレーヤーの育成

「コーチに依存することなく自立させる」

⇒子ども自身に「どのようにプレーするか」「どのようにして勝つか」といった課題をもたせることで、勝敗に対するオーナーシップ（結果は自分次第で変わるという考え方）を育むことができる。

7. 終わりに

- 『インテグリティ』と『育成マインド』は、不可分の関係である。
- U12世代は、バスケットボールを始めていく年代であり、子どもたちにとってバスケットボールとの出会いがどのような印象になるかは大変重要である。
- 「育成マインド」をもった大人（指導者・保護者）が、子どもたちにスポーツの楽しさ・価値を伝えながら、バスケットボールを通して、子どもたちの健やかな成長を支える役割を担う。
- 子どもの未来に責任をもつ必要がある。
- 我々大人も、学び続けることが大切である。

◆引用資料：JBA「U12カテゴリー指導ガイドライン」
* JBAのHPより閲覧可能